

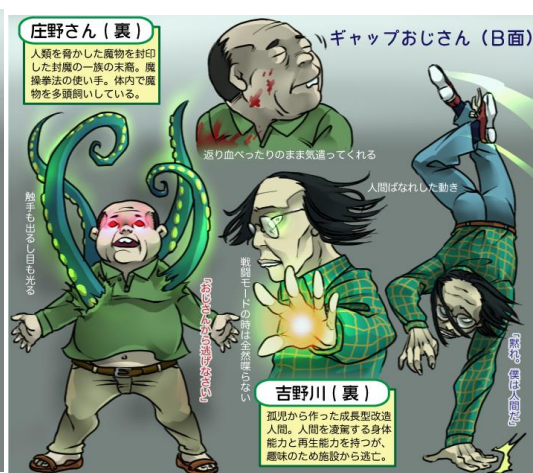
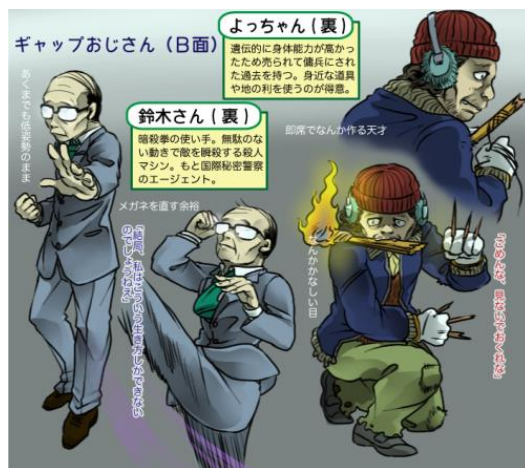
ギャップおじさんTRPGリプレイ

《人形は踊る》



ギャップおじさん TRPG とは。

ツイッター上で話題となった理想の乙女ゲーと題された以下の画像。



この設定をもとにして、日常で平穩に暮らす超人たちを作成。

彼らが巻き込まれる事件を題材にした物語を、サイコロフィクションを利用して再現したシステムである。

プレイ方法は至ってシンプル。

ギャップおじさんの日常を表現する『抛所フェイズ』

日常に現れた異物、脅威を描写する『異音フェイズ』

PCとそして脅威が入り乱れる『狂騒フェイズ』

そして脅威との最終戦、『決戦フェイズ』

以上のフェイズを順番に消化していくことで、ギャップおじさんのスリリングな物語を創造できる。

こちらは『ギャップおじさん TRPG』を実際に遊んだ様子を読み物として編集し直したリプレイとなっています。

まずこれを TRPG にしようという精神がどうかと思うし、実際に作ってしまうバイタリティもいかなものかと思うが、それより何より、めちゃくちゃ早く、画像の使用許可まで下さった元ネタの製作者、T 長様の懐の広さが怖い。

偉大すぎる T 長様のサイト、『複眼顕微鏡』はこちらからどうぞ。すごい良いのでスゴイ見るべき。

複眼顕微鏡 → <http://id25.fm-p.jp/40/taichow/>

現在、基本ルールブック、成長ルールとスキルルールを搭載したスキルパート、そしてランダムシナリオチャート、ランダムシーン表、情報イベントルールを搭載した GM パートに加え、判定方法やセッション運営についても山ほど盛られたサンプルシナリオもデザイナーのサイト、『煙草屋製作所』で絶賛無料公開中。

煙草屋製作所 → <http://tabakoya-3.jimdo.com/>

1 ページ TRPG もおよそ 110 種類公開されているため、コンベやセッションの空き時間などにどうぞ。本当にコレだけの量が無料でいいのか心配になってきているのはここだけの秘密。

GM:あ、どもっすいらっしゃーい

GM=幽奇

ギャップおじさん TRPG 経験者。うっかりデザイナーに捕まったため、初 GM をやる羽目になった哀れな生き物。特技は春画を投げること。

四季神:はい、どうもこんばんは。

金本:こんばんは一、ただいま画像あさり中です

金本・悟=PL 名無権兵衛

ギャップおじさん TRPG 経験者。渋い RP をやらせると出力が倍増する特殊能力を持つ。が、プレイの渋さが影響して女っ気に恵まれない。あの空間に女性キャラを放り込める気がしない。

四季神:まだ時間がありますから、ちょっと準備をしておきますね

GM:こんばんは一

四季神:今日はどうぞよろしくお願いします。

金本:よろしくお願いします

GM:よろしくですよーあと一人来るはずなんで待っててくださいー

四季神:今日が初 PL なので、ちょっと緊張していますが、よろしくお願いします。初心者です。

金本:なんか嘘つきがいる……

GM:嘘をつくな！ TRPGオバケwww

四季神:しょんしゃです。

GM:白を切るなwww

金本:むしろ創造神なんですが？

四季神・夏影=PL 煙草屋

ギャップおじさん TRPG デザイナー。PL やりたさのあまりに、GM パート・サンプルシナリオを含めて文庫本半分が埋まる量のテキストデータを作る狂人。『TRPG お化け』『壁ドン魔人』『TRPG の化身』『概念』とひどい名前が多い。

四季神:あ、今のうちに、PC のセリフを打ち込んでおきますね。自己紹介とか定型文ですから、先に打っておくと待ち時間を減らせていい感じ。あとは必殺技とかスキルの決め台詞も決めておこうと。

GM:あー自己紹介を先書いておくんですかなるほど

四季神:これをやっただけでセッション高速化しますからね。

浦戸:こんばんわー。

浦戸・礼=PL UMA

ギャップおじさん TRPG 初心者。お化けの巧みな勧誘に堕ちた。キャラクターの元ネタは、眼帯をつけたあの総統。もはやイメージだけで強い。ギャップおじさん TRPG の勉強のために参戦とのことでデザイナーは冷や汗をかいていた。

GM:あ、しばらくは雑談でどぞー

金本:コマ追加できたかなあ

四季神:画像が変わってないだけですな。

浦戸:一応版權ものの1枚絵は用意してますけど、切りぬいてすらいませんが使っていいんです？

金本:自分も版權かつ切り抜いてません

GM: 自分のはジュエルセイバーFREEからもってきましたよー、教えてもらって助かったわー。かなりキャラがいるからある程度は対応できますし

ジュエルセイバーFREE

株式会社ブリリアントサービス様から提供されているソーシャルカードゲーム『星宝転生ジュエルセイバー』のフリー素材。サービス終了とともにイラストを含む様々な素材がフリー素材として開放されており、著作権問題に悩むイラストの描けないTRPG勢にとってとんでもなくありがたい素材。五体投地で礼拝推奨。このリプレイでも画像をお借りしています。

浦戸: これ、どうやって追加するんですって(初心者)

四季神: 上の画像タブ→アップロード ふあいやー

GM: ふあいやー

金本: ふあいやー(便乗)

画像タブ

とてもすさまじいオンラインセッションツール『どどんとふ』の機能のひとつ。

ダイスポットはもちろん、各種ランプ・カード対応。マップを表示したりコマを作ったり立ち絵をつけたりBGMを流したりと、オンラインセッションがスゴイことになっちゃうツール。機能が多数盛り込まれているため、使うときは経験者の人と一緒だと安心できます。マニュアルも販売されているのでお布施推奨。

GM: 初GMなんで加減がわからないと思います、だから先に行っておく すまんと。間違ってたなら創造主がいるんでツッコミおねがいしますー

浦戸: 流れの確認も兼ねてきてますので、間違ってるところがあるとこっちの印象に残ってむしろありがた…

金本: 加減がわからない。全員闇堕ちですかね

四季神: GMGM

GM: うん?

四季神: 自己紹介が原稿用紙みっちり2枚分になったんだがどうする?

GM: はやwww

金本: この短時間で800文字w

短時間

15分。加減を知らない。

四季神: まだ書き足りない。

GM: まだ!?

四季神: 四季神流についての説明を付け加えようとしたんだが、そっちは流石に省いた。

GM: まだあるの!? 省いて!?

四季神: あと使鬼神と識神と式神と四季神の意味についても解説しようと思ったんだが、ゲーム内容に関係ないからこれも削っておいた。

GM: それでもか……

四季神: 一応、ゲームに必要なものだけいれて、800字ちょっとに抑えた。だから言っとう！ 一週間あれば小説一本分の設定作るって!

浦戸: 私、偉そうだとぼけた良すぎる目を持つおっちゃんぐらいにしか設定を決めてないのです(

四季神: 設定とかは私は好きで積んじゃいますけど、なければないでセッション中動きやすいですし、あとからこっちも振りやすいので。浦戸さんとか金本さんとか、大いに体当たりしてくのでよろしくお願いします。

浦戸: はーい

金本: 体当たり、頑張ってみます

GM:じゃあ、みなさんよろしいですか

四季神:あいよ

金本:おkです

浦戸:はい

四季神:あと5時間もらえたら自己紹介を1万字に増やすこともできるが?

金本:読みたいけど、それで何時間もとられてしまうww読みたいけども!

浦戸:真似できないというか私だと手が持たないだろうなあw

GM:では、初心者GMがお送りさせていただくはシナリオ『人形は躍る』

ハーレムエンドのその後は

GM:それでは最初に自己紹介をお願いします。一番手として四季さんです。名前と出自をどうぞ。

四季神:おっと、最初か。さて、自己紹介ということだが、改めて。俺の名前は四季神・夏影(しきがみ・なつか)25歳だ。

出自は魔法使い。四季神流呪術を操る…呪術師といったほうがいいのか? まあそんなもんだ。



Table with 12 columns: 組織, A, 技術, B, 武芸, C, 魔術, D, 肉体, E, 怪物. Rows include 予知, 類感, 感染, 交霊術, 憑依, 防壁, 召喚, 命令, 力場, 光弾, 天候, 超感覚, 超視覚, 超暗視, 超聴覚, 超軟体, 超剛体, 超脚力, 超握力, 超腕力, 超反射, 超回復, 幽体, 複眼, 超音波, 変色, 皮, 鱗, 翼, 触手, 爪, 牙, 不死.

Table with 2 columns: PL, 煙草屋

Table with 2 columns: 名前, 四季神・夏影 [しきがみ・なつか]

Table with 2 columns: 光, 闇

Table with 2 columns: 出自, 魔法使い

Table titled '日常表' with 3 columns: 外見, 性格, 欠点. Rows include 初老, テビ, 恵体, 細身, 短髪, 不精, 長髪, ラフ, スーツ, 眼鏡, 一昔前, 短気, 神経質, 弱気, ケチ, 口下手, オタク, おしゃべり, 浪費家, 高慢, 大雑把, のんびり, 赤貧, 中毒, 無職, 孤独, 病弱, 窓際, マッスル, 既婚, 平社員, 小金持ち, 成金.

Table titled '拠所表' with 4 columns: 拠所, 情, 関係. Rows include 嗜好品, 敗北, ゲーム, 運動, 労働, 学問, 創作, 育成, 異性, 勝利, 金銭, 友情, 憐憫, 庇護, 競争, 尊敬, 侮蔑, 悔恨, 探究, 信仰, 共感, 愛情, 家族, 友人, 恋心, 同僚, 先達, 後輩, 親, 幼子, 保護者, 戦友, 同好.

Table titled '封印' with 1 column: 封印. Rows are empty.

Table titled 'スキルリスト' with 5 columns: NO., 名称, 種別, 指定特技, コスト, 効果. Rows include 『プレコグ』 (宣言, 予知, 2), 『オーダー』 (宣言, 命令, 1), 『裏の顔: 人外』 (装備, なし, なし), 『パターン: ゴリラ』 (宣言, 皮, 1).

Table with 2 columns: 日常, 設定. Rows include 孤独 (人間との会話は苦手。馬鹿正直で人の気持ちを考えない), 病弱 (四季神流呪術の反動で内蔵をいくつか供物に取られている。), 窓際 (社会人3年目。転職回数は5回を記録。), 幼子 (使鬼神(しきがみ)の春歌。狸から変じた幼神。見た目は幼稚園児で、人間としての戸籍も持っている。同居人1。予知能力を持つ。), 保護者 (識神(しきがみ)の冬華。狐から変じた老神。齢1,000歳を超えるが、見た目は30代前半。同居人2。言霊術を使う。), 戦友 (式神(しきがみ)の秋香。狗から変じた守護神。見た目は女子高生。普通に高校に通っている。同居人3。怪力。)

四季神:十代の頃は仲間のシキガミ…ああ、四季神流だと操る人外のことをカタカナで『シキガミ』と呼ぶんだが、まあ

そいつらと一回世界を救っている。それから引退して、普通に大学行って今は会社員をやっている、ってところだな。

金本: キャラで自己紹介する流れか、面白い!

自己紹介

キャラクターの自己紹介は、設定を並べるだけで本来は十分。キャラクターのロールプレイをしながらやっているのはただの趣味。時間を気にしながら、やりやすいようにパッションするとよい。

四季神: あー、日常もやったほうがいいか?

GM: あ、じゃあ日常もやっちゃいますか

四季神: 日常は《孤独》《病弱》《窓際》。

四季神: 《孤独》なのは、四季神流は人外と対話をする上で、嘘を禁じている。その関係でお世辞とかがどうも苦手なんだ。人付き合い全般がちっとな。

四季神: 《病弱》なのは数年前の戦いで、内蔵をいくつか供物に捧げてるせいだ。啞えているタバコみてえなのも身体機能を補うための霊薬で、定期的に補充しないと割りと死ぬ。

四季神: 《窓際》なのは、体調と嘘がつけない性格が災いして、なかなかいいポジションにつけないのが理由。こんなもんかな? 人間の世界だと割りと結構きついけど頑張ってる。

GM: ふむ、了解です。では拠所は何をとりましたか?

四季神: オーライ、拠所は《幼子》《保護者》《戦友》。

四季神: 《幼子》は使鬼神(シキガミ)の春歌。見た目は幼稚園児だが、中身は狸の変化。

予知能力を持っていて、そのせいで昔は座敷牢に入れられてたそう。今んところは俺の妹として一緒に暮らしている。

四季神: 《保護者》は識神(シキガミ)の冬華。見た目は 30 代

前半の未亡人風だが、中身は狐の変化だ。言霊術を操る化

け狐で年齢は 1000 歳超え。力に憧れるバカどもがうるさくて俺んところに転がり込んだ。高校の時分から、何かと世話を焼いてもらっている母親みてえなもんだな。年をとらないで出会った頃の姿のまんまだが、人間やる気があるのかどうかはちっとわからん。

四季神: 《戦友》は式神(シキガミ)の秋香。見た目は女子高生

だが、正体はうちで飼っていた狗の変化だ。馬鹿力だけが取

り柄で、実年齢で言えば俺より年上。けど、死んで人間体になってるから、今んところは女子高生として暮らしてる。



四季神: 一応、他にもいるが同居しているのはこの 3 人。秋香以外の二人は力のせいでまともな暮らしができなかった、っていう連中。だから夏影は、力を使わずに生きていきたいと考えている、という感じだな。

四季神: ちなみに夏影自身が持っている特技は《交霊術》と《憑依》のみ。他のは全部シキガミから借力して使う、っていう設定だ。スマホ型の呪具でスワイプ操作するとそのスキルが使用できる感じ。

四季神: んー、かんたんな説明だがこんなもんでいいか?

かんたんな説明

かんたんとはいったい。

GM: はい、了解ですーハーレム主人公かよくけっ

四季神: ああ、肺と腎臓の半分と、それから胃の 2/3 を払ってる。コストはかかっているよ、それなりにな。

GM: それは、式神の代償ってことですか？

四季神: いんや、人外との交渉。肉をよこせ、つつわれて、自分で割いた。肺食ったのは冬華な。

GM: あー了解です…

浦戸: 山盛り感が素敵

金本: 設定もりもりいいですよ

四季神: まだ盛りたい。けど、プレイするのに必要な情報ってこのぐらいだよ

金本: 今回、自分はあっさりした自己紹介になると思います

浦戸: 私も私もー

四季神: これとくらべるのよくない。肺とか云々は今考えたし。

GM: 他に何かありますか？ ないようでしたら拠所フェイズに移りたいのですが

四季神: ああ、これ以上話していいならあと五時間かかる。次に行こう。

GM: wwwじゃあ拠所フェイズに行きましょうか。どの特技から判定をします？

四季神: んー、《戦友》から行こう

GM: ではその特技を指定特技に、もう持っている特技なので、目標値は 0+0 で 0 です。ダイス1つを振ってください。目標値 0 です。どうぞ！

DiceBot: (1D6) → 6(成功)

四季神: おいよ、いいねえ、いい数字だ。次は、《保護者》行こう、1 以上だな？

DiceBot: (1D6) → 4(成功)

四季神: コレも成功だ、次は《幼子》、これも 1 以上だ。

DiceBot: (1D6) → 1(成功)

四季神: 成功だ。接近させると安定するなあ、壊されやすくなるから、ちっと怖いんだけどな、これ。

GM: ということは光 3 ですね

金本: そう、光溜めやすいけど壊されやすくなるんですよ。

浦戸: 設定重視で間隔広げたから、3回目が6出さないとダメだな私。

金本: 最初このバランス、いいな。自分も一応設定重視ですよ

GM: では、拠所とどんな日常を過ごしているか演出があればどうぞ

四季神: じゃあそうだな、家にかえるところで。仕事が終わって、スーパーで惣菜買って帰る。

GM: 了解です

四季神: じゃあ、今日も仕事で先輩に「そうですか、無能ですね」とか言ってめちゃくちゃ怒られて、それからスーパーに寄って帰る。「やっちゃったなあ…」で、とぼとぼ帰ると、戦友の秋香が迎えてくれるわけですよ。だれでもいいけども。俺を癒せ！ 光をよこせ！

GM: wwwwww

光

PCの力の源。日常への想いをデータ化したもの。各種スキルのコストになっているほか、使用すると判定のダイスを1つ増やすことができる。回帰判定での切り札。拠所フェイズで行う拠所判定、狂騒フェイズから行える日常判定で獲得できる。

秋香:「お、しけた顔してんな！ どうした！」と後ろからバンツと叩かれますね

四季神:「無能を無能って言ったら普通に怒られた」嘘はつかない、という信条なので、素直に答えちゃうわけですね

秋香:「ばっかだー！ おんなじことやってるし！」

四季神:「…お前はそろそろ嘘の一つも覚えろよ。まあいい、飯だ飯。買ってきたぞ」

秋香:「ヒャッホー！ 肉？ 肉？」

四季神:「ああ、トンカツ。あー…キャベツあったかな」とか言いながらもっしもっし家に入るわけです。日本家屋な。

秋香:「ただいまー」靴もポンポンとぬいで。

四季神:じゃあ自分の靴紐解くついでに直しておく。「あいつ学校でうまくやれてんのかなあ」とぼやきながら、靴を脱いで家にあがるわけですよ

四季神:「おう、春歌はもう寝たか。冬華？」と声をかけよう

冬華:「ん？ おかえり」っと玄関に現れますね

四季神:「おう。ちっと遅くなった。えー、春歌はねちまったか？」

冬華:「春香は寝たぞ、またしけた面でもしてるの」

四季神:「ハッ、仕事するつーのは、これでなかなかキツイやね。周りと話があわねえことあわねえこと」肩をすくめて、上着を脱いでネクタイ外して、「あー、疲れたー」とか言いながら。

冬華:「どうせまた正直に言ったのだろう…人間はうそをつく生き物であるのに…貴様と言ったら…」

四季神:「しゃあねえしゃあねえ。嘘をついたら丸呑みにする狐がそばにいたからよ？」

冬華:「ふん！」っといってますね

四季神:なんだろう。ハーレムエンドのその後、って苦労しかなさそう。こいつら全員養わないとだめなのか…今、俺は、割りと呆然としてる…。

冬華:そのまま惣菜を奪って台所に向かいます。で、台所に戻る前にぼそりと「いつもありがとな」っといってはいきますね。

四季神:じゃあククっと笑って「まあいい、好きで抱え込んでんだ。飯にするか？」居間に…あー、その前に。寝室で寝てる春歌の顔だけ見に行く。

春歌:では、寝室では布団を蹴り飛ばして寝てますね

四季神:「ふん、よく寝てらあな。…ま、子供はそのほうがいいやな」と笑って、布団だけ直し。「…こいつらに、苦労だけはさせたくねえなあ」とぼやいて終わる感じで

GM: 了解です

四季神: おかしい

GM: うん？

四季神: ハーレムエンド主人公のハズが、お父さんだこれ。

金本: www

四季神: おかしい、どこかで何かを間違えてる。

GM: www

四季神: ギャップおじさんといえばギャップおじさんだし、まあ、いいか！

浦戸: おじさんの立場を取らざるをえないあんちゃん(ギャップおじさん)

四季神: おかしい。まったくエロい気分にならない。こいつら相手にエロい気分になれない。

「誰でもできるよ」「やらないだけさ」

GM: では、次のかたーでは、金本さんお願いします。

金本: 了解です。あー、自己紹介ってあまり好きじゃないんだが。金本悟。34歳。今はギャンブルで日々生活している。



	組織	A	技術	B	武芸	C	魔術	D	肉体	E	怪物	
調査	裏切り		秘匿	2	乗馬	2	予知	2	超感覚	2	幽体	2
	スパイ		盗聴	3	目線	3	類感	3	超視覚	3	複眼	3
	権力		虚偽	4	観音	4	感染	4	超暗視	4	超音波	4
防御	国家		調達	5	心理	5	交霊術	5	超聴覚	5	変色	5
	護衛		擬態	6	読み	6	憑依	6	超軟体	6	皮	6
	装備		隠れる	7	体捌き	7	防壁	7	超剛体	7	鱗	7
攻撃	代替		遮蔽	8	無刀	8	召喚	8	超脚力	8	翼	8
	人員		畏	9	当身	9	命令	9	超握力	9	触手	9
	部隊		誘導	10	投げ	10	力場	10	超腕力	10	爪	10
	精鋭		狙撃	11	振り	11	光弾	11	超反射	11	牙	11
	勧誘		破壊	12	斬り	12	天候	12	超回復	12	不死	12

PL	名無権兵衛		
名前	金本 悟		
光	0	闇	0
出自	大物		

日常表			
	外見	性格	欠点
2	初老	短気	赤貧
3	チビ	神経質	中毒
4	恵体	弱気	無職
5	細身	ケチ	孤独
6	短髪	口下手	病弱
7	不精	オタク	窓際
8	長髪	おしゃべり	マッスル
9	ラフ	浪費家	既婚
10	スーツ	高慢	平社員
11	眼鏡	大雑把	小金持ち
12	一昔前	のんびり	成金

拠所表				封印	
拠所	情	関係			
嗜好品	2	友情	2	家族	2
敗北	3	憐憫	3	友人	3
ゲーム	4	庇護	4	恋心	4
運動	5	競争	5	同僚	5
労働	6	尊敬	6	先達	6
学問	7	侮蔑	7	後輩	7
創作	8	悔恨	8	親	8
育成	9	探究	9	幼子	9
異性	10	信仰	10	保護者	10
勝利	11	共感	11	戦友	11
金銭	12	愛情	12	同好	12

スキルリスト					
NO.	名称	種別	指定特技	コスト	効果
1	私だ	装備	人員	なし	狂騒での異能判定に+1D
2	根回し	宣言	裏切り	1	判定直後、振り直しさせる。光の開放も含める。
3	※マルチタスク	宣言	なし	なし	狂騒フェイズ手番終了後再行動(シナリオ中1回)
4	※天才	宣言	なし	なし	ファンブル振り直し(シナリオ中1回)
5					
6					

設定	
ラフ	隠すところが隠れてたら何でもいい
浪費家	使って無くなれば、また稼げばいい
無職	今はギャンブラーという名の無職
拠所	
設定	
敗北	人生ハードモードぐらいで丁度いい。負けている状態
ゲーム	賭け事大好き
競争	底辺だからこそ、誰とでも勝負できる

GM: 出自は?
 金本: 自分で言うのもなんだが、「大物」だ。これでも前まで大手会社の社長をやっていた。

GM: ほう
 金本: 刺激が足りないんで、部下に会社渡してやめたんだがな。ベンチャーから始めたのに、すぐにでかくなっちゃった。会社経営ってのは思った以上にヌルゲーだ。

GM: 天才だったのですねえ
 金本: 天才ってほどすごいことはやってないさ。情報さえあれば、誰でもできる。今は競馬に競輪、パチンコパチスロなんかをやってるよ、あれも簡単だがな。

GM: ほう、他に何か設定はありますか?
 金本: 会社のやつらから時々連絡が来ることもあるな。戻って来いっていうが、願い下げだ。まあ、手助けしたりされたり、持ちつ持たれつの関係は続けているよ
 GM: なるほど…

GM: では、拠所シーンに移りましょうか

GM: 日常は何を取りました？

金本: 《ラフ》《浪費家》《無職》

金本: 《無職》は言うまでもないな、ギャンブラーは職業じゃねえ

金本: 金遣いは荒い方だな、金なんていくらでも溜まっていくもんだし。

金本: 服装も今や気にしねえな。拠所いきます！

GM: おねがいしやす

金本: 《敗北》《ゲーム》《競争》

金本: 《敗北》は、あれだな。憧れた。人生負けてるぐらいが面白い。まあ、あまり負けたことねえが

金本: 賭け事は好きだぜ、情報集めたり相手の心理読んだり、負ける可能性も秘めてるしな。

金本: 《競争》ってほどではないが、ギャンブラーでもうけを比べるのも楽しいや。って感じですかね

GM: ほうほう。了解です。では拠所判定にいきましょうか。どの特技から判定を始めますか？

金本: 《敗北》からで

GM: ではその特技を指定特技に、もう持っている特技なので、目標値は 0+0 で 0 です。ダイス1つを振ってください。

金本: 0 以上ですね

GM: はい

DiceBot : (1D6) → 6(成功)

GM: では連続判定行きましょう。一番近いのはどこですかね。目標値もお願いします。

金本: じゃあ次は《ゲーム》ですね。目標値 1

DiceBot : (1D6) → 4(成功)

金本: 最後、《競争》。目標値 3 ですね。

DiceBot : (1D6) → 4(成功)

GM: おーおめでとうございます

浦戸: ん、あれ

四季神: どうしました？

浦戸: 距離3マスと光が2で目標値5？

四季神: 光がもらえるのは判定のあとです。

浦戸: そっか

四季神: なので、途中では目標値の変動はありません。

連続判定の目標値

拠所判定・日常判定では連続判定が終わるまで、目標値の変動はない。なので離れたマスの数がそのまま目標値となり、最初の拠所フェイズではガンガン光を取っていくのが得。

GM: では、拠所でどんな日常か演出をどうぞ

金本: (正直、拠所で誰かと絡めるのが難しいキャラです、はい)

GM: むずいっすねえwwww

誰かと絡めるのが難しい

拠所表の関係分野に特技を持っていないと、特定の人物をだしにくい。拠所フェイズの表現はなかなかこまる。

四季神: GM、提案なんだが、金本の拠所フェイズ、俺、出ていい？

GM: ほう？

四季神: ギャンブル相手、として接点持ってるみたいな

金本: じぶんはおkです

GM: よいそうですね

四季神: やったー

GM: なにか、希望はありますか

金本: 麻雀にでもしましょうか

四季神: オーケーです、じゃあそうですね

GM: では雀荘ですかねえ

四季神: 「リーチッ！ きたぜ、ぬるりとなあ…！」

金本: 「おっと、それもーらい、ロン」

四季神: 「…」

四季神: 「…待った、って何回までいいんでしたっけ？」

金本: 「0 回だなあ」

四季神: 「そっかあ…」点棒を一本一本数えて、そっと

金本: 「あいよ、ありがとさん」

四季神: 「いやまあ、うん、まだまだ、まだまだですよ、うん」

金本: 「お前の河は素直すぎんだよ、子供でも読める」

四季神: 「…ツモ和了りさえすりゃあいいんです、ツモれば、ツモれば勝てるんですよ…！」

金本: 「もっと強くないと、張り合いがねえぞ」って普段からやってる感じで

四季神: 「…くそ、金本さんなら、もっと強い人いくらでも知ってるんじゃないですか？」といいながら、配牌をですね、こう、分割して目の前に並べてる。塊ごとに

金本: 「……あー、いなかったな。南入るころには癖がわかちまう」

四季神: 「それでも俺よかマシでしょうよ。…どうなんですか、最近」戻るつもりないのを知ってるけど、聞く感じ

金本: 「いまだに電話はくるねえ、どうでもいいような要件のあとに、決まって「戻ってきてほしい」だ」

四季神: 「でも、戻る気は…ない、と」

金本: 「社長なんて、誰でもできるぜ、つまらん」

四季神: 「ま、金本さんからしたら、そうですね。…俺も似たようなもんです」

金本: 「はは、世界救ったやつと比べられてもなあ」

四季神: 「はは、救ったあとは用済みですよ」

金本: 「まあ、世界救うってのも面白いかもなあ」

四季神: 「…それよか」とハコを逆さに振って「世界の前に、俺を救うためにもう一局どうですか…！？」背中が割りと煤けてる。

金本: 「戻らなくていいのかい？ ほれ、あいつら待ってるんじゃ？ 結構な時間だぞ」

四季神: 「え？ …うあ」と時計をみて青ざめて「この借りは、いつか必ず…！！」とすごい顔ででていきましようか

金本: 「ほれ、帰れ帰れ。3 人のおもりは、俺でも難しいかもな」ククと笑いながらしっしと

四季神: 「まあ、楽しいですよ。苦勞と、同じくらいには」

GM: おとうさんやwww

金本: 「苦勞、俺もしてみたいねえ……」こんな感じで

GM: ありがとうございますー

浦戸: 流れで会話がまとまる進行力は本当参考にしたい

四季神: 鍛えてますから。

GM:じゃあ、次逝きます？ 浦戸さん自己紹介と出自をお願いします

浦戸:では、左目に「意思を持つ魔眼—セト—」を埋め込む実験を施された改造人間。浦戸・礼。しかし見た目は初老のおっちゃん。得た魔眼は己の意思で動き、見て、ときに体を動かす。彼本人の脳は生命維持以外に必須ではないのだ。



	組織	A	技術	B	武芸	C	魔術	D	肉体	E	怪物	
	2	裏切り	2	秘匿	2	乗馬	2	予知	超感覚		幽体	2
調査	3	スパイ	3	盗聴	3	目線	3	類感	超視覚		複眼	3
	4	権力	4	虚偽	4	観音	4	感染	超暗視		超音波	4
	5	国家	5	調達	5	心理	5	交霊術	超聴覚		変色	5
防御	6	護衛	6	擬態	6	読み	6	憑依	超軟体		皮	6
	7	装備	7	隠れる	7	体捌き	7	防壁	超剛体		鱗	7
	8	代替	8	遮蔽	8	無刀	8	召喚	超脚力		翼	8
攻撃	9	人員	9	罨	9	当身	9	命令	超握力		触手	9
	10	部隊	10	誘導	10	投げ	10	力場	超腕力		爪	10
	11	精鋭	11	狙撃	11	振り	11	光弾	超反射		牙	11
	12	勧誘	12	破壊	12	斬り	12	天候	超回復		不死	12

PL	UMA
----	-----

名前	浦戸 礼
----	------

光	闇
---	---

出自	改造人間
----	------

日常表			
	外見	性格	欠点
2	初老	短気	赤貧
3	チビ	神経質	中毒
4	恵体	弱気	無職
5	細身	ケチ	孤独
6	短髪	口下手	病弱
7	不精	オタク	窓際
8	長髪	おしゃべり	マッスル
9	ラフ	浪費家	既婚
10	スーツ	高慢	平社員
11	眼鏡	大雑把	小金持ち
12	一昔前	のんびり	成金

拠所表			
拠所	情	関係	
嗜好品	2	友情	2
敗北	3	憐憫	3
ゲーム	4	庇護	4
運動	5	競争	5
労働	6	尊敬	6
学問	7	侮蔑	7
創作	8	悔恨	8
育成	9	探究	9
異性	10	信仰	10
勝利	11	共感	11
金銭	12	愛情	12

封印

スキルリスト					
NO.	名称	種別	指定特技	コスト	効果
1	リミットブレイク	特殊	超反射	1	決戦時。使用后判定に+1。累積可
2	崩し	特殊	超反射	-	攻撃時。指定特技から次の連続判定に+2
3	※洗練:超反射	装備	超反射	-	指定特技での判定に+1
4	※マルチタスク	宣言	なし	-	狂騒時。手番終了後再行動。1回のみ
5					
6					

設定	
スーツ	スーツ。上下の見た目があっていない...
大雑把	はっはっは、だからどうしたと言うのかね？
高慢	ふっふっふ、それが何だと言うのだね？
拠所	
学問	変な格好のおじさんが本を読む
探求	適当なおじさんは日常を求める
信仰	偉そうなおじさんも救いを信じる

浦戸:身体能力も激しい戦闘機動に適応できる程度で、超人と呼べるものではない。目が全てなのである。そして魔眼は使えば使うほどに意思を強め、体の制御を奪う。眼自身はしっかりとした人格を持ち悪人ではないのだが、戦いに明け暮れるもののため本人は忌避し魔眼と体の奪い合いが常に起きている。今は本人が優勢である。今も平穏を求め眼との小競り合いを続けている

四季神:かけえ…寄生されてるんだ

GM:かっこいいなあ

四季神:しかも闇がすごいわかりやすい

浦戸:…とそんな感じですかね

GM:ふむ…眼の人格とはどんなのかは決まってるのですか？

浦戸:そうですね…書いてて思ったけどこれ大総統じゃなくてリンとグリードですよ

四季神: ですよ(

浦戸: なので多分グリードみたいな感じ

GM: じゃあ日常は何を取りました?

浦戸: 《スーツ》《高慢》《大雑把》です

浦戸: 《スーツ》はパリッと決まってるはずなんですけど上下がちぐはぐです。一目で変

GM: うん?

浦戸: 多分色合いが全然違います

GM: すみません、どういうことですか?

四季神: えーとねちょっとまって(検索中

四季神: こういのでしょ?

四季神: 若い人がやるならいいけど、年配がやるとちょっと変。

浦戸: ああ、良いですねこの微妙に間抜けな感じ

GM: なるほど

金本: おお、まともなちぐはぐだった

四季神: 無いわけじゃあないけど、着こなすは難しい。フォーマルな場所だとちょっと、って思われるかな、ぐらい

浦戸: 補助助かります。で、続きですね 《大雑把》と《高慢》

GM: はい

浦戸: これはまあ例えばこのスーツに関して口を出されたときに

四季神: 「上と下やばないっすか?」

浦戸: 「だから何だと言うのかね?」「それがどう悪いのかね?」と、絶対に譲りません

GM: ほうほう! なるほど…日常はこれでいいですか?

浦戸: あ、そうでした

GM: はいはい

浦戸: 本人は常に笑顔を浮かべつつ高圧的な言動ととぼけた態度で相手を煙に巻く狸オヤジである。そして態度は悪いがその会話一つ一つを大切にしている。という感じで実は日常の一つ一つを大切に生きています

GM: ほう

浦戸: 偉そうな会話も実はとても楽しい

四季神: 超人特有の日常が非日常という

浦戸: それだけで日常に居たいと思うぐらいにですね …というところで

GM: 了解、では拠り所の紹介をお願いします

浦戸: 《学問》《探求》《信仰》です

浦戸: 《学問》は特に読書。休日には図書館から漫画喫茶まで幅広く出かけますが、これ、読書をするのは「自分の目」を使っている実感が欲しいというのがあります。読書しているときは自分になれる感じですかね。

四季神: やばいカッコいい

GM: なるほど、カッコいいなあ

金本: 読書の理由がカッコいい

浦戸: 《探求》《信仰》はひとまとめですが、ただひたすらに救いの形(眼と共存できるか、分離するかなど)を求め考えながら居る感じですね。

金本: 共存も考えてるのか、やさしいおっちゃんや

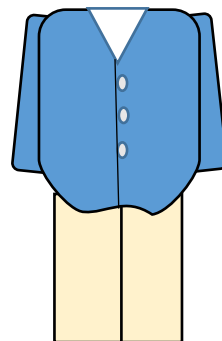
浦戸: 以上です

GM: 了解です。では拠り所判定に行きましょうか

浦戸: 《信仰》からですね

GM: では目標値 0 から! どうぞ!

DiceBot: (1D6) → 2(成功)



GM:おめでとうございます、では次は何にします？ 目標値もおねがいします

浦戸:《探求》、目標値1ですね

DiceBot : (1D6) → 6(成功)

浦戸:最後に《学問》目標は4ですかね

DiceBot : (1D6) → 3(失敗)

GM:おや、闇を1貯めれば成功ですが貯めます？

浦戸:行っときましょうか

闇

1 点上昇させるごとに判定の達成値を1ずつ上昇させることができる。ダメージを食らうと増える、HP と MP が混じったようなもの。たまりすぎると日常に戻れず、PC は闇へと戻っていく。

GM:では闇1溜まります

浦戸:折角3が出てますしねー

四季神:このあたりで闇が8点とかある人もたまにいるのに

金本:今回みんな固まっていますからねえ

四季神:目安として3点までなら光のために闇使っていい感じですね

GM:はい、まあ闇の説明っていります？

浦戸:ある程度確認してはいます

四季神:目安としてですけど21を超えると、戻るときが大変ですね。なので、そこまではガンガンに貯めても問題はないです。

GM:じゃあ、日常のシーン行きます何かやりたいこととかありますか？ 仕事って何かやっています？

浦戸:60歳ぐらいでギリギリ仕事をしてるか65ぐらいかで悩んでたんですよ…でもスーツですし普通のサラリーマンなんでしょう、きっと

GM:了解です

浦戸:無難に図書館で読書をしてるあたりで、誰かと関係性があつた方がいいなら絡みますが

四季神:もしあれだったらなんですが、提案を一つ

浦戸:はい

四季神:会社員なら四季神の上司、というのはどうですか？ 面識はある程度の。それなら無理にここを出なくても、金本さんとのからみだけでもいいかなーとか。人数が3人になると、結構たいへんですしね。

金本:なるほど

浦戸:良いんじゃないでしょうか。上司だけど偉そうだけど、あんまり立場も高くない感じの

金本:知り合いってなると、元取引があつたり、とか

浦戸:じゃあ眼主導モードの私とあつたことがあるとかどうでしょ

金本:おお、いいですよw眼主導になると完全に眼の性格になるんですかね

浦戸:多分データの的には闇が大分増えてた時期なんですよw意識は両立してる状態ですが口調が俺になってますね

口調が俺

なにそれかっこいい

浦戸:さっきの案の取引中に荒事になったとか

金本:おkです。じゃあ、図書館で見かけて近づきますね。「お、浦戸さんじゃないですか」っていいながら向かいに座ります。

浦戸:「…金本くんか。どうしたんだね、こんな所で？」

金本:「図書館ですからねえ、読書ですよ、読書」と本をひらひら

浦戸:「君がかね？随分と似合わん行動だね」

金本:「本は情報の塊ですからねえ、流行の本とか読むと面白いですよ」

金本:本のタイトルを見ながら「浦戸さんは、やっぱり眼ですか？」

浦戸:「はっはっは、何を言うのかね。私は本に囲まれるのが好きなだけだよ」タイトルは人の胃袋の握り方とかで

金本:「はは、本に囲まれるのが好きな人が読む本じゃないっすね」

浦戸:毎回読んでる本も適当です。本当は右目を使いたいただけなんですけど誰にも本心は話しませんねw

四季神:一言いいですか

浦戸:はい

四季神:浦戸かけえなあ…！！！！

GM:かけえね…！！！！

浦戸:ありがとうございます、素直にうれしい。

かけえ

この前後、雑談タブは『カッコイイ』話で埋め尽くされていた。カッコイイが止まらない TRPG。

浦戸:「これは情報の塊ではないというのかね？人類の知識の結晶ではないか」

金本:「おっしゃる通り、塊です。あいにく、俺には使い方がまだ思いつきませんがね……で、眼のほうはあれ以来平気なんすか？」

浦戸:「…私に問題はないよ。君に心配してもらうようなことはこれっぽっちもね」

金本:「そりゃあよかった。あれはもう勘弁ですからね」

四季神:じゃあそのあたりで浦戸さんの携帯に、仕事関係で電話をかけよう。

浦戸:「…私だ」

四季神:「お休みのところ申し訳ない、実は、二、三確認したいことが…」みたいな感じの電話ですね

浦戸:じゃあ外に一回出たってことで「わかった、少し待ちたまえ」で金本くんに別れを伝えて

金本:じゃあ、手をひらひら振ります

浦戸:そのまま電話しながらフェードアウト でいいですかね

GM: はい、お疲れ様です。たっく女の子出せそうにないぜ……

四季神:女の子出ないのになんか楽しい

金本:女の子分を四季神さんにとられてるから……

浦戸:偉そうなのに話すの大好きだから話が切れねえ！

四季神:いやあ、だと思ったので電話しましたwきっかけないと難しいですよ、ほんとにw

金本:助かりましたw

四季神:見てて、「あ、終点がないぞこれ」って思って、すいません、でしゃばりました。

GM:うん、正直もう少しかかるようなら女の子出して止めようと思った

浦戸:眼が動こうとする、で逃げるって準備は一応ありましたけど…助かりました

話が切れない

場面のゴールを決めていないと、よくありがち。困ったときは周りに素直に相談すると誰かしら助けてくれる。

GM: まあ、ひとまずこれでいったん休憩にしましょうか。

四季神:ダブルクロスでいうと PC3 と 4 の掛け合いばかりが続いて楽しすぎるTRPG

金本:実際会話は楽しい

四季神:狂騒フェイズとかは結構システムチックに進んじゃいますからね、ここで思う存分やる。浦戸さんの役職というか肩書ってどのぐらいですかね？ 課長？ 部長？

浦戸:課長でいいんじゃないですか？wなんなら係長でも

四季神:課長にしときますねw

浦戸:おかげさまで自分のキャラがつかめてきましたw

四季神:いい感じの立ち位置ですよえw金本さんは雲の上の人、っていう印象。ご隠居的なポジションの人が、なんか遊び相手探してる、みたいなそういう雰囲気

GM:そういえば皆さんのキャラの年齢ってどんなもんですか？

四季神:25 歳。ギャップおじさんとしてはかなり若め。でもラノベの主人公から現在を考えると、十分おじさん

金本:34 歳です

浦戸:60 前後ということになりました

GM:高齢は浦戸さんか…

金本:金本は基本ふらふらしてますからね。しかもそれでなんとかなってしまってる。刺激求めているので、やっかいごとには積極的に首突っ込んでいきたいと思います

四季神:生活をなんとかしたいんです！ 扶養家族 3 人は結構きついです！ 25 歳には荷が重いんです！ 助けてください！

金本:お金稼げばいいんだよ

四季神:…生活一番やばいの四季神ですよ、これ

GM:今までの蓄えあるんじゃないか

金本:実際そうですよねw

四季神:無いよ、と言いたいけど、だいたい将来の学費貯金。秋香はともかくとして、春歌の大学卒業分ぐらいまでは積立しないと、それを考えると余裕がない。

GM:wwww

金本:やっぱりお父さんじゃないか

四季神:今、裏で色々計算してたんですが、公立行ってくれないと相当きついなあって…

GM:ちょwwww

四季神:私立、私立かあ…でもなあ、人外だし、やっぱり私立のほうが、色々安心かなあ…って

GM:では再開しますか！

四季神:いや、本人が行きたい学校でいいと思うんですよ？ でもお金がね？

GM:では再開しましょうか！

金本:完全にお父さんだ。

雑談

ギャップおじさん TRPG にかぎらず、雑談はとても大事。いざ、というクライマックスな場面で「そういえば俺たちどんな関係なんだっけ」となることも珍しくない。自分のキャラの説明も大事だが、相手のキャラクターについて、相手と自分のキャラクターの関係についてなど、色々話すと設定が安定するのでおすすめムーブ。

GM:では皆さんは休日だとしてどこかに行く予定はありますか？

四季神:んー、特には。ただどこにでも行く可能性はありますね。

浦戸:本を読みにく

金本:おそらく競馬

DiceBot : (1D6) → 4

GM:では、金本さん、競馬に行く途中でいいですか？

金本:いいですよ。新聞眺めながら歩いてます。「1着は5だ、これは確実。残りは……」



GM:そうすると、目の前でナンパされてる少女がいますね。かなり、強引です

金本:「ほう、白昼堂々ナンパか、盛んだねえ」って言いながらスルーですかね、見はしません

GM:「ねえ、いいじゃん！おごるよ」と男たちは話しますが少女は無視してます

金本:(あー、あれは失敗するね、確実に。誰でもわかる)気にしながらもスルーですかね。関わりに行った方がいいですか？

GM:できたら。少女のほうは迷惑そうですね。で、遂に無理矢理引っ張ってこうとしますね。

関わりに行ったほうが

超人型のシナリオはPCが世捨て人タイプだとあまり積極的に関われない。よくあるシチュエーションでも、好き好んで力を使いたがらないため、わりとスルーしがちになる。なので異音フェイズでは強引に展開したほうがやりやすいケースが多い。

金本:「あー、あれは駄目だ。犯罪の域」って言いながら頭ぼりぼりして近づきます。「ちょっとちょっとお兄さん、それは駄目だよそれは」あくまで声かけるだけで

男:ナンパ男のほうは「あ、なんだおっさん今いいとこなんだよ」すぐくいらだってますね

金本:「いやあ、それはわかるんだけどね。無理やりは駄目だ、そりゃ拉致だもん」と笑いながら「やるならもっとうまくやらないと。で、駄目ならあきらめる。これが駆け引きよ」

男:「失せろ！」とって殴ろうとしますが…

男は、ドゴンっという横に吹き飛びます

金本:…ポカンと口空けてます



少女:少女のほうを見ると蹴った体勢ですね「先ほどはありがとうございます」とたんたんと話します



金本:ちょっと驚きながらも「ほら、あきらめないから」と。「いやあ、おじさん何もしてないよ」とへらへら

少女:「手加減はしたので大丈夫です」

金本:「はっはあ、あれで手加減かあ。強いねえ、キミ」

少女:「ところで、金本さんでしょうか」

金本:ちょっと警戒して「……ああ、合ってるよ」

少女:「スカウトに来ました…ずいぶんと世界に退屈しているご様子」

金本:「こんなおじさんをおかい?」とへらへら

少女:「はい、先読みの手腕はどんな人より優れています」

金本:「はは、退屈も退屈。買い被りすぎだよ、誰でもできる。……みんなやらないだけさ」

四季神:くう…ああ、いってみてえなあ!

四季神:「だれでもできる」「やらないだけさ」とかっていうセリフ…って思ったら普段から言ってた(着席

浦戸:はい(真顔

普段から言ってた。

リアルが狂人だときこういふときに困る。

少女:「あなたは、そう思うのかもしれませんが、しかし我々は違います。もっと大きな勝負をしませんか? 世界を巻き込む大勝負です。国を巻き込む戦争をします」

金本:「ふーん、確かに面白そうだ。面白そうだが…誰にもつかなかつたら、それら全員が敵ってことだよな?」

少女:「断るつもりですか?」少し剣呑な雰囲気を出しますね

金本:「断った方が面白そうなんでね」とへらへら

少女:「では、無理やりにでも連れていきましょうか」といって自分の足元を思いっきり踏みます

金本:じゃあ「読み」でどこに来るかがわかるってことで、はい、よけます

少女:彼女は驚きつつも「やはり、素晴らしい」と感嘆しています。「あなたは、こちらに来るべきです。ここであなたを逃すのは惜しいです。ゆえに…ほんきをだします」腕か触手になって金本を襲います

金本:「はは、人間じゃないね、こりゃ」と驚きながら逃げの体制に入ります。「ま、本体が人間なら逃げるのはたやすいさ」と触手を避けてから逃げ出しましょうか。裏道ってことなんで、「誘導」で相手の裏をかいて逃げる感じで

GM:この音で異常に気づいて、他の人も登場する感じをお願いします。

登場する感じ

異音フェイズは脅威の紹介とPCの合流が目的。タイミングを見計らうと逃すので、どういう風に合流してほしいのか、ぶっちゃけてしまうとスムーズ。

四季神:じゃあそこで、ずっと出てこようか「金本さん、こっちです!」

金本:「おお、四季神さん奇遇だねえ」とそっちに行きます

四季神:交霊術を使ってスマホ画面に人影を表示してレーダーにしている。「…なーんか妙な音が聞こえたと思ったら、なんてもんに絡まれてんですか」

金本:「知らないよお、女の子助けてあげたらこれだよ」

四季神:「…とりあえず、ちょっと場所を移しましょう」

金本:「やっばスルーが正解だったね、ありゃ」

四季神:「いいことだと思いますよ、女を見捨てるよりは精神的に楽でしょうから」





浦戸:では私は裏道からさらに出てくる

四季神:「浦戸課長!？」

GM:はい了解です

浦戸:左目だけがぐるりと動き人の動きを確認しつつ「何だと言うのかね、私は読書をしたかったのだが？」

GM:では皆さんの後ろから足音が聞こえますね

四季神:「課長」

浦戸:「何だね？」

四季神:「あれは、こっち側じゃないですよ。”あっち側”です」といって、左目を指差します

浦戸:「そうだろうな、眼が随分と元気だ」

四季神:GM、ここからどうしたらいいかな、逃げるなら逃げる。

GM:では、皆さん、後ろの足音が近くなりました。

少女:「…人が増えたおかげで見つけられました」と近づきます。「四季神さんまでいらっしゃるとは、会いに行く手間が省けました」

四季神:「……………金本さん金本さん」

金本:「なに？」

四季神:「なんであれ、私の名前知ってるんですかかなりこわいんですが」

少女:「そちらは、浦戸さんですね」

金本:「知らないよお、おじさんも知られててビックリしたもん」

浦戸:「うむ、私が瀬戸だが？」

私が瀬戸だが？

突然の別人登場。



少女:「…。…あ、れ? ……え、うそ? データ、データと違う?」

浦戸:あ。ちがう。どっから出てきた瀬戸。

四季神:一瞬、さらっと偽名をなのってごまかしたとおもったらwww

金本:自分の名前も間違えるおおざっぱさ

自分の名前も間違える

浦戸と瀬戸。確かに遠目から薄目で焦点をぼかしながら見るとそっくり。

浦戸:一種のゲシュタルト崩壊ですかねこれ。字が小さくて潰れ気味なせいで浦が瀬に脳内で勝手に置き換わってしまった

四季神:「……人違いか？」

少女:「いや、四季神と、金本は確かです」パニック状態から治ります

浦戸:偉そうにふんぞり返っています

少女:「…そこの方は一般人のようなので逃げてよいです」

浦戸:「そう言う訳にもいかんようだ。もう巻き込まれているのでな」しかし私のせいで茶番が伸びている早く戻さねば。

茶番が伸びている

切りどころが浮かばなかったら、スパッと方向転換するとよい。

少女:では「ふむ、仕方ないです。気絶してもらいます」と右手が触手になり浦戸さんを襲います!

四季神:おっと、ならそれは防がせてもらおうか。浦戸さんが改造人間と気づいていないなら、こっちで抑える。

少女:「ふむ、やはり防ぎますか」

四季神:「IGNITION!」とスマホを操作して《超軟体》を起動、かばう感じで。

浦戸:次は自分でなんとかします。

金本:やばい、四季神さんかっこいい

GM:と、その時…にやーんって音が響きます、彼女のぽっけから

少女:「失礼」といってぽっけからスマホを取り出します「申し訳ありません、メンテナンスの時間ようです。本日は、これにてひかせてもらいます」

四季神:「待てッ!」

少女:「3日猶予を与えます。そこまでに、もう一度返事をお聞かせ願います。では」

GM:といて話を聞かず。触手を使ってビルを上って去ってきます。

金本:「俺はもう返事したはずなんだけどなあ」

浦戸:「…ふん、早いな。もう私の目の範囲外か」

GM:ええ、もういませんね

四季神:「…ちょっと状況を整理しましょうか」といってスマホからメモを起動。

金本:「ああ、すべてが一方向的だったからねえ」

四季神:「1. ターゲットはおそらく我々3人、2. 三日後にまた来ると言っている、3. そもそもあいつは何？」

金本:「あとね、なんか国を巻き込む戦争を起こす、とか言ってたよ」

四季神:「なるほど、じゃあ4. 国を巻き込む戦争を企てている、と…整理しましたが、何がなんだかかわからねえですね」

金本:「メンテナンス、ってのも気になるね。あのうねうねのかな」

浦戸:「それに随分と念入りな調査の上で私たちに会いにきているようだ。厄介だな」

金本:「浦戸さんがターゲットから除外されたっぽいのが救いかなあ」

四季神:「いやまったくですよ、課長。…どうしますか、放置するか、それともこっちから行くか」2人にそうやって確認する感じで

金本:「猶予ってのは、こっちにとっても有利だけど、相手にとっても有利だからねえ」と思案

浦戸:「動きを見て対応したい所だがな。どうせもう一度私の所にも来るだろう。一時的なごまかしなど通じん」

四季神:「……」じゃあ思案してる様子に、苦虫を噛み潰したような顔をして、黙る

金本:「まあ、せっかく猶予くれたんだし。その間いろいろ手を打とうよ」と楽しそうに

四季神:「…ええ。ともかく、奴らの狙いぐらいいは探りますよ。狙いが俺だけなら、どうとでもするんですが…」と他の家族のことを考えます

金本:「そうだよねえ、こんなおじさん捕まえて何がしたいのやら」

四季神:一応、やりたいことはここでおしまいですかね

金本:じゃあ一言「まあ、退屈は、しなさそうかな」と言っておきます

浦戸:じゃあ私は「…うるさいぞ。出番が来たからと言ってお前に全てを譲るつもりはないからな」と眼に

お前に全てを譲るつもりはないからな

浦戸の魔眼に対する対話。要所要所で場の状況に関わらず発せる便利ワード。しかもいちいちかっこいい。ずるい。

GM:じゃ休憩っす、十分後に再開で。



休憩中

GM:長くなってすまん

浦戸:半分ぐらい瀬戸さんが突如出現したせいだと思います

金本:謎の瀬戸さんw

浦戸:よくやるんですねえ私。この前オープニングで出て来たライバルキャラにミドル開始直後にあなたは誰?とかかましましたからねえ…

金本:事前に決めたこと以外の設定は忘れがちだからしょうがないw

四季神:www

GM:いやあ、うん誰に行くか困ったからダイス振ったんだけどねえ

四季神:んー、誰に行くか、というスタートより、**ゴールのが大事**ですね。終わりが見えてたらそこに向かいますけど、そこがわからないと、割りと動けません。

金本:着地点のほかに、通過点が決まってる则やりやすいですね

GM:ゴールもさっきのように途中で帰るってのも決まってたんですよ

四季神:それをPLと共有するのが大事です

GM:あー

四季神:GM だけがわかってても、こちらはそれに協力できないわけですね

GM:まなびましたー

金本:こら辺が普通のゲームとの違いですよ

浦戸:勉強になってます

金本:喋りが多いのは、それはそれで楽しいんですけどねw

四季神:GM 初心者向けに解説するとですね、動きが固まったときは展開をぶっちゃけちゃうほうが楽。

四季神:「ここはこうなるとイベント進むので、いい感じにお願いします」と言ってしまうと全然平気です。

GM:ういっす

四季神:たまに、シナリオの展開を先読みされるのを嫌う GM がいますが、先読みされたらガッツポーズしてください。なんでかっていうと、PL はこっちの思惑を理解して、そのとおりに動いてくれるから、シナリオの展開としては大正解なんです。

GM:ほう

四季神:だって、全員がシナリオの雰囲気や共有できてるんでしょ? それ、絶対楽しいですよ。GM はそのとき、「さて、どうだろうね?」って笑っておいて、最後に「大正解だ、諸君」これでオーケー

GM:りょうかいです

四季神:このあたりも GM パートに追記必要そうですかね

シナリオの進行

GM はもちろん、プロの小説家や映画監督、舞台演出家ではない。サプライズやネタバレを気にするのも大事だが、それよりも場にいる全員が、「こういう風に動くとカッコいい」これを共有できるほうが気持ちよく遊べることも多い。

GM: おっとそろそろか。みなさん、いますかー

四季神: いない

金本: いそう

GM: そうですか

浦戸: 実はいます

GM: もう十分待ちましょう

四季神: さあやろうか！(手のひらクルー

金本: 始めましょう

GM: ヤッパイター

GM: では、狂騒フェイズを始めます、皆さん狂騒のルールはわかります？

四季神: だいたい

金本: 大丈夫です

浦戸: 読みはしました

四季神: やれることが4種類。殴る、ける、どつく、あやまる

他全員: wwwwww

四季神: 殴るは調査判定といって…けるは日常ですね、で、どつくが拠所、あやまるが防御です。

金本: そのまま続けた！？

GM: まあ、まず調べられる情報を開示しますね(スルー)調べられる情報は二つ・彼女の正体・彼女の目的。この2つです。【闇】は30。ではみなさんどうしますか？

四季神: ふむふむ。んー、光についてはふたりとも問題ないですよ？

浦戸: うっす

金本: 大丈夫です

四季神: 今のところ3つあれば、なんとかなるかな、と。最悪、最後のサイクルに全力で光稼げばいいと思うので

金本: なんだったら自分で溜めます

GM: なお、彼女の豊満な胸は調べられません

浦戸: 多分その気になったら左眼だけ細かい数値まで調べてそう

GM: 胸の？

浦戸: ああ、まあ、はいw

細かい数値まで調べてそう

どんな魔眼だ。

四季神: じゃあ正体を課長にお願いしていいですかね？ 左目が胸を含めて、シリコンかどうか、正体をですね

金本: www

四季神: あれは流石にシリコンだろう！

あれは流石にシリコンだろう！

お前ら真面目に調査しろ。

GM:なんつうことをwww

四季神:一応、四季神としては、目的は調べておきたいです。下手すると家族を巻き込まれそうなので、そうじゃなかったら防御で邪魔したい。金本さんはどうします？

金本:あ、じゃあ調査しますんで、防御お願いします

四季神:了解。それじゃあ最初のシーンは私がもらっていいですかね？

金本:どうぞ

浦戸:どうぞどうぞ

『SHIKIーシキガミーGAMI』システム、IGNITION

GM:はい、じゃあ四季神さんどうします？

四季神:防御判定で行こう、《皮》からスタートだ。成功するごとに脅威の行動の目標値に+1。3回はいくかな。

GM:では目標値7、防御分類の特技なので、修正+2が入って出目5で成功ですね

四季神:「ったく、厄介なことにまきこまれっちまったなあ、おい」とスマホを取り出して、「『SHIKIーシキガミーGAMI』システム、IGNITION 【狗神・秋香】 ちよいと力あ借りるぜ」

DiceBot : (1D6) → 5(成功)

四季神:成功、続いて《超軟体》につなげる！ 目標値は2マス離れて7だ。超軟体、行くぜ。『SHIKIーシキガミーGAMI』システム、IGNITION！ 【海神・水果】！」と大蛸の水果を憑依。

DiceBot : (1D6) → 1(失敗)

四季神:闇を6点もらって、成功！ 次、《憑依》いくぜ。『SHIKIーシキガミーGAMI』システム、IGNITION。【ジャイブトーク】」目標値は6、振るぞ。

DiceBot : (1D6) → 2(失敗)

四季神:んー、たりねえな、4点くれ。闇の合計10で成功だ

浦戸:リソースの切り方も中々難しいところなので先に見ておいて良かった

四季神:四季神はかなり闇を突っ込む方ですよ。なんせ拠所が近いので回帰しやすい。

金本:闇はどんどん使っていくと思いますよ。ただ、ある程度以下であれば、ですが。

浦戸:HP 兼 MP ですよ。回帰判定一回につき-10を念頭に。

四季神:ですね、最初から10はちょっと積みすぎですが

GM:つづけます？

四季神:交霊術は8以上だ、打ち止めする。脅威の行動は+3になるから、まあいいだろう。しめえだ。「…とりあえず、これで結界は十分か。ったく…水果までよぶとはなあ」とぽりぽりして終了です、次どうぞ

金本:スマホ使って、システム起動して…かっこよさしかないけど呪術師感ないですねw

GM:科学と呪術の融合ってかっこいいですよ

四季神:呪術師設定どっかいったな…。

四季神:【闇】10 【光】3



金本: どうします? 正体からいきます?

浦戸: じゃあそうしましょうか。今回調査に指定特技はありませんよね?

GM: はい、とくにないですね

浦戸: では《超暗視》で行きましょうか。折角なのでシーンも夜で

GM: 了解です

浦戸: こちらを調べようとしている彼女をさらに遠距離から、かつ暗闇から観察します

DiceBot: (1D6) → 5(成功)

四季神: すげえ

GM: はい、成功ですね

浦戸: +2 だから成功か

金本: 闇なしで成功だ

四季神: 今回闇があまりたまらない回ですね(※10ためた

GM: では、彼女の拠点となっている場所を発見します

浦戸: 「ふん、暗視スコープごときで私の眼を越えられると思うでないわ」

GM: そこで彼女が去ってる間に情報をぬいたということで、彼女の正体から言いましょう



・組織が支援する三科 沙織を筆頭とする研究者達が作り出した、三科 沙織のクローンに組織が改造手術を施した。存在《ドール》

GM: それが彼女の正体です、クローンですね。なお、現在製造二年目ですね。つまり2歳です

四季神: 道理で頭がからっぽなわけだ。使い捨ててもおしかあねえ。

浦戸: では追加で「…どうやらお仲間のようなぞ? 全く嬉しくはないがな」と眼に言いながら退場

GM: はい了解です

金本: 2歳。更生の余地がある、か?

GM: 次は金本さんですね

四季神: その前に、調査のダメージを、お願い致し申す!

金本: ああ、大事大事

四季神: このメンツ、火力がおらぬゆえ、割と重要にござる、何卒…何卒…!!!

GM: あ、忘れてた

ダメージ

調査判定で情報を開示すると、脅威の持つ【闇】がダイス1つ分減少する。かなり大事。

DiceBot: (1D6) → 1

GM: しられても痛くない

浦戸: オートガードされてる気分

浦戸: 【闇】1 【光】3 脅威: 【闇】29



金本:じゃあ彼女の目的を調査します。スキル『私だ』があるので2dですね

『私だ』

狂騒フェイズ中の判定を常に2d6で行う大物のスキル。強い。

金本:《人員》使うってことで、秘書子さんに電話します「あー、俺だよ俺」

秘書子:「はい、社長。どうしました」

金本:「元、な。現社長に悪いだろ?ちょっと調べてほしいことがあるんだわ」と、こんな感じで



秘書子:「いえ、私の中では社長はあなた一人です」

DiceBot : (2D6) → 12[6,6] → 12(スペシャル)

金本:ww

四季神:!? スペシャル、だと…?

GM:まじかwww

スペシャル

ダイスの出目で6が2つ以上出たとき、発生する。目標値に関係なく判定は成功となり、【光】を1点もらえる。脅威の場合、ダメージがダイス1つ分上昇する効果がある。ダイス1つで判定するギャップおじさん TRPG ではかなりレア。

金本:光ゲットだぜ。秘書子さんすげえ

GM:ほんきだしちゃったんだねえ

四季神:もう秘書子拠所にしよう。

金本:帰れたらしましょうw

GM:はいじゃあ情報だしますね。

金本:おにゃーしゃー

・組織に自分の有用さを示すため超人のスカウトを行っている。

GM:それが彼女の目的です

金本:ほー

浦戸:自分の有用さと来たか。命令よりアピールなのね

四季神:んー、意思で動いているとするとちとめんどくさいなあ。殺しにくい

浦戸:命令通りに動く機械ならこちらも作業で殺しに行けますけどねえ

四季神:ちいっと心が痛むね

殺しにくい

でも殺す。裏で淡々とそんな話をしている社会人組の闇は深い。

GM:そして、新しい情報が開示されます ・彼女の真の正体

新しい情報の開示

シナリオによって調査できる項目は、最初からすべて出てこない場合がある。きっかけとなる情報を見つけたり、条件はいくつかつけることが可能。順序立てて情報を開きたい場合によく使われる。

金本:「なーるほどね、ありがとさん」

GM:「はい、社長」

金本:「だーかーらー、元だっつーの」

GM:「いえ私たちは、いつまでもお待ちしております」

金本:「面白そうなことになったら呼んでくれ」って切ります

GM:「はい、了解です」

金本:「たく、堅いねえ、相変わらず」

四季神:おいまて、あそこでオフィスラブをしているのがいるぞ

オフィスラブをしているのがいる

ハーレム状態の四季神よりラブコメ率が高いという事態。

金本:ダメージお願いします！

DiceBot : (1D6) → 6

GM:な…に…

金本:秘書子すげえ

四季神:秘書子の殺意がすごい

金本:【闇】0 【光】4 脅威:【闇】23

白い魔界

GM:じゃあ、脅威の手番です。浦戸さんに誘い行きますね。

誘い

PCに日常判定をし、成功するごとに【闇】をダイス1つ分ふやす。ダイレクトに痛い。

四季神:目標値は+3 だぞう？

GM:素の状態です、5、防御が入って8以上ですね。

DiceBot : (2D6) → 5[1,4] → 5(失敗)

GM:だめだああああ

金本:+3 さまさま

GM:『誘惑』もってたのにいいいいいい

四季神:あぶねえな！？

『誘惑』

誘いの判定に+2。何もなかったら出目3で成功。脅威の判定はダイス2つなのでかなりやばい。



四季神:+3 なかったらやばかったのかよ、成功してたのかよ。

金本:うおお、それは危ないw

GM:この体スカウトのためなら何とでも……じゃあシーン行きますね

この体スカウトのためなら何とでも
詳しく。

浦戸:はいー

GM:シーンどこがいいです？

四季神:ランダム表で決めたらどうだ？

浦戸:そうですねえ、希望も思いつかないのでランダム表お願いします

GM:ランダム？

四季神:GM パート掲載。2d6 を2回でシーンが出てきます。

DiceBot : (2D6) → 12[6,6] → 66

DiceBot : (2D6) → 12[6,6] → 66

浦戸:なんだこれ

GM:ちょww

金本:スペシャル 2 連続

四季神:6 ゾロをここで 2 回使うとは豪気な GM もいたものでござるな！ えーとシーンは…(GM パートぺらぺら)

GM:運出し切った

四季神:…『白い』『魔界』？

GM:しかもどこ！？ ラブホ！？

ラブホ！？

詳しく。

金本:明らかに普通の世界ではない

浦戸:では彼女の見て追いかけていった結果。侵入した建物のなかは遠近感の全く効かない白一色でした

四季神:ああ、そうか、アジトの表現かな？ 普通の人間には耐えきれないような、そんな風景

GM:そこで、一人膝を抱えて座る《ドール》ですね。では、浦戸さんに気付きますね

少女:「おや、瀬戸さんではないですか？」

浦戸:瀬戸さんです(

金本:瀬戸さんと認識されてるw

浦戸:「何だというのだね、わざわざ私の視界に入ってから逃げてその態度は」

少女:「ここに気付くなんて…」と啞然としてますね

少女:「やはり、あなたも超人？ でも、データに瀬戸という人は…？」

浦戸:この化け物クラスの視力ですからもう浦戸だと認識していいですよw

少女:「だましたのですか！？」驚きます

四季神:なんという



金本: やばい、かわいいぞこの子

かわいいぞこの子

殺害計画を立てていたところにこの描写。こんな子を殺せるはずがない。

四季神: でも決戦しないとならないんだ…(ジャキ)

決戦しないとならないんだ

そんなことはなかった。殺意に陰りはない。

浦戸: 「騙したつもりはない、あの時私は瀬戸と名乗ってたただけだ」



四季神: え、どういうこと! ?

浦戸: なにいったんだこいつ…(自分)

少女: 「やっぱりあなたは浦戸さんではないですか! 」とパニックになります

浦戸: 「そうだが? 」

少女: 「次は騙されません…」目をキツとして逃げます。チキしょうが…

浦戸: 傲慢に変なユーモアを混ぜた結果こうなってしまった。

GM: 6 ゾロ二回が…!!

2サイクル目

GM: さあ、次に行きましょう! 2サイクル目です!

四季神: うん、ちょっと作戦考えました

金本: ほう

四季神: えーと、防御いらない。

GM: ふあ! ?

四季神: ちょっと賭けになりますが、対処できる

GM: え、あのね? いやまじ?

四季神: 私の『オーダー』と金本の『根回し』も使えば、失敗率はかなり上がる。最悪、一発目を見逃して、2発目以降を消せればいけます。

GM: まじか。

金本: じゃあ四季神さんは光溜めに回る感じですかね?

四季神: 多少、賭けの部分はありますがね、それで行けるはず。防御全力でやるコストの方が重い。

防御全力でやるコストの方が重い。

唯一闇が10を超えている人は言うことが違う。

浦戸: ふむ

四季神: 金本さんに光をためることも考えないのですが、このサイクルは全力調査でいいと思います。情報がなくなったら、一回防御。それで対抗判定をするとき光を使えば、3サイクル目で目標値が下がった状態で判定ができますから。

光を使えば

拠所判定・日常判定の目標値は、持っている【光】の数になるため。



金本: 了解です。マルチタスクあるんで、光はどうとでもなるかと。

四季神: このサイクルは闇を使うんじゃなく、光を使って補助したほうがいいと思います。

浦戸: とくに問題はないです

四季神: あとは行動順ぐらいですか。私は防御特化ですから、後詰めに回しましょう。情報がなくなったら、防御で。

金本: では先に動きましょうか。調査で。

浦戸: スキルの的にもお願いします

『必要とされた事実』

金本: おkです。真の正体について調査。

GM: あ、ちょっとまって…指定特技あります。

金本: おおう。

指定特技あり

情報には指定特技を設定することができる。なければ持っている特技から判定できるが、設定されていると難度があがる。

GM: 出すの忘れてた。《スパイ》です。すみません

金本: あ、《権力》でいきます。またさっきみたいに秘書子に電話します。

GM: 目標値は+1 だから 8、分類調査で+2 なので、6 以上ですね。

金本: 「俺俺、ちょっと昨日のことで気になることがあってさ」

秘書子: 「はい、社長。どうしましたか」

金本: 「うん、もうちょっとあの子について調べてみて」

秘書子: 「了解です、すぐ調べ上げます」

四季神: この会社なんなの…

金本: 「あと、元を忘れないでよね」じゃあ振りますよー

DiceBot : (2D6) → 8[6,2] → 8(成功)

GM: 成功です

金本: さすが秘書子

秘書子: 「社長情報です」データがおくられます

金本: 「おお、ありがと。どれどれ……」

GM: データを開示しますね

・彼女は洗脳を受けている。洗脳装置により彼女は組織に尽くすことは絶対であると考えている。この情報を知られたとき彼女は暴走する。

四季神: うわあお

GM: はい、情報イベント『封じられた正体』発動です。

金本: どうなるんでしたっけ

GM: 『誘惑』が『クリーチャー』に変化します

情報イベント

情報を暴くことで起こるイベント。基本的に脅威が強化されるような内容ばかり。



四季神:スキルの入れ替えをするイベントだ。『クリーチャー』は拠所の破壊に+2の修正。つまり、誘惑をやめて、殺しにかかってくるってわけだ

金本:「なるほどねー、やっぱりかー」

秘書子:「社長…この子はどうするのでしょうか？」心配そうな声で話しますね

金本:「……心配しなくても殺しはしないよ、それは犯罪の域だ」

秘書子:「りょうか…え？」後ろからパリーんと音がしますね

金本:「……どうした!？」

秘書子:「聞かれていたようです。先ほどの情報が…彼女に漏れました

金本:「……まずったな、こりゃ」

秘書子:「申し訳ございません…社長」

金本:「あ、やっぱり？ はっはあ、難易度上がってきたじゃん。いいよいよ、大丈夫大丈夫。なんとかすればいいだけだから。秘書子、ケガは無いか？」

秘書子:「はい、大丈夫です…ご心配ありがとうございます」

金本:「元部下の心配するのは元社長の仕事だよ。さって、どうしょっかねえ」と楽しそうに言って終了かな。まだイベント続きある？

GM:ハイわかりました、情報がもう一つ開示されます

金本:ああ、そういうことか

GM:まあひとまずダメージ出しましよ

金本:お願いします

DiceBot : (1D6) → 3

金本:秘書子も動揺したか

GM:じゃあ、もう一つの情報出しますね

浦戸:そっちは私の仕事だなと

GM:・三科 沙織について 指定特技は《国家》です

金本:クローンの前か

浦戸:…7つか

7つか

一番近い特技までのマス数。四季神と浦戸は組織分野に特技を持っていない。

金本:『マルチタスク』を使います

『マルチタスク』

狂騒フェイズで手番終了後、もう一度行動を行う共通スキル。

四季神:俺以外のふたりとも『マルチタスク』あるから強いなあ。

金本:「あー、秘書子。もう一つ頼みがある」

秘書子:「はい、何でしょう？」

金本:あいつは仕事してる方が落ち着くからなと思いつつ「三科沙織について調べてくれ」

秘書子:「三科沙織ですね」といって調査します

金本:権力使うので目標値はさっきと同じかな

DiceBot : (2D6) → 6[5,1] → 6(成功)

金本:ギリギリセーフ

GM:いや、これ3サイクル目の予定だったんだけどなあ。じゃあ、情報を開示します

金本:あるあるw

・三科沙織は子供ができない体質であった、そのためクローンを研究していたが組織はそれを悪用した。彼女はそれを知らない…



GM:クローンを自分の子にしたかったんですね

金本:「オッケー、了解だ。ありがとう」

秘書子:「はい、社長」

金本:「あと、俺の警備より会社の警備を強化しろよ。場所が割れてるんだから」

秘書子:「いえ、すでに強化しました」

金本:「さっすが秘書子。あとは元社長って呼んでくれたら完璧！」

秘書子:「私は…正直この会社を辞めて、あなたの手伝いをしたいです」

金本:「……十分手伝いをしてくれているじゃない。俺は俺の勝手に自由に動いている。手伝いなんて特に何も無いよ。今回はイレギュラーだ。ただ……」

秘書子:「そうですか……」すごい落ち込んだ声

金本:「もし、会社をやめたいならやめるといい。キミを縛るものは何もそこにはないはずだ」

秘書子:「……」

秘書子:「……わかりました。まだ、会社にはいます…」

金本:「……そうか。じゃあ、情報、ありがとうな。気をつけろよ」

秘書子:「しかし、私はあなたをずっと待っています。私は社長の秘書ですから」

金本:「……そうかい」って言って電話を切ります。「じゃあ、俺も社長として頑張らなと、かなあ」ってな感じで締めで。

GM:じゃあ、終了でいいですか？

金本:終了で大丈夫です！ ダメージお願いします

DiceBot:(1D6) → 3

GM:秘書子強い。12点与える

金本:秘書子、かわいいな。コキ使ってるのが申し訳なくなってくる。

GM:いや使ってくれるのがうれしいんだと思う

四季神:……。ところで、追加の情報とかはもうない？

GM:もうないねえ。あ、そうだ。この情報で一回禁呪と同じ効果が出せる。

金本:ほう

GM:効果はこんな感じ。

『必要とされた事実』コスト1 脅威の判定直後に宣言。その判定をファンブルに変える。

金本:なるほど、それは金本が使える感じ？

GM:動揺をさそうってことで、はい。

浦戸:狂騒はやろうと思えば完封まで見えてきましたね

GM:だから、3ターン目の予定だったのに。この間の量ヤバス。全然増えてねえ。



金本:成功しまくりですからねw

浦戸:出目が元気良いです

四季神:んー…。殴り倒すしかねえのか。

金本:【闇】0 【光】4 脅威:【闇】17

「んじゃあ、まかしますわ」

GM:では次どうします？

四季神:ここまでの情報でわかったことが1つ。

金本:ふむ。

四季神:我々、この件に一切関係ないなッ！

この件に一切関係ないなッ！

当事者性が無いともいう。このPCがこの事件に関わらなければならない理由もなければ、事件の被害者とも縁が薄い。要は誰でもいい、という状況。案外シナリオを作ってから回すまで気づかないことが多い。

GM:そうっすね。

金本:狙われてるだけですからね。



浦戸:超人収集計画の的にたまたまなつたと。

四季神:ええ、しかも脅威がその被害者。今回のシナリオだと、組織までは抜けな
いよね？ まったくもって気がのらねえ。

GM:あー…。や一胸糞悪さをだそうとしたらな一被害者になった脅威が。

金本:彼女よりも組織をぶっ壊すべき？

四季神:いや、それは無理だろう。今回はもう情報がない。それならだ。これ以上、
脅威に何もさせない方を選びたい。

GM:ほう？

四季神:すげえかんたんに言う。まず、二転三転して申し訳ないんですが、防御やっ
ぱりやっておきます。

金本:ほうほう。

四季神:で、判定は失敗させる。それなら、あれの手は汚れん。

浦戸:なら、私も防御参加ですね。

四季神:と、考えてるんですが、どうですかね。ちょっとコスト的にはあんまり賢くないです

金本:自分もその方が心情的にいいです。ドジっ子で終わってほしい。

四季神:ええ、浦戸もここで参加してもらえたらすごい楽です。

浦戸:特に何も。もともと、完封できそうならしたかったですし。

四季神:んじゃまあ、いっちょ妨害しますか。一応、こっちで2は上げますので、浦戸は1成功ぐらい見てもらえれば。

浦戸:言われなくても2以上は無茶しなきゃでません(

四季神:ですよ！ じゃあ、俺からまずは行きましようか。今度は《憑依》からスタートで、目標値7の修正+2。では判
定いきます。

DiceBot:(1D6)→3(失敗)





四季神:光を1使います。

DiceBot:(1D6)→2(成功)

浦戸:あぶないなw

四季神:で、続いて《超軟体》6以上でいきますとも。

DiceBot:(1D6)→3(失敗)

四季神:で、光追加!

DiceBot:(1D6)→4(成功)

四季神:成功だな。

GM:せいこうです…。

四季神:『オーダー』分残してこれで止め。

四季神:「IGNITION…ったく、胸糞悪い連中だな」

GM:はいっす、描写あるならどうぞ

四季神:スマホに描いた魔法陣で、厄難避けの呪術を貼る。

四季神:「ったく、とりあえずは、課長に頼むか」ってなところで「んじゃあ、まかしますわ」といって場面チェンジ!

四季神:【闇】10 【光】1 脅威:【闇】17

「……確実に止めろ」

金本:サラリーマン同士で防御してるのがかっこいい!

四季神:大人だからな。

金本:3 サイクル目は自分が防御します。狂騒中なんで、2d振れますので。

GM:じゃあ次いきましょうか。

浦戸:防御《憑依》で判定、5以上…。

DiceBot:(1D6)→4

GM:闇1でせいこうです。

浦戸:1なら闇でいいかねえ。

四季神:ですな。3なら考えるかなぐらい。

浦戸:では支払い支払い。

GM:成功、闇は合計2です。

浦戸:「…少しだけ体を貸す、確実に止めろ」眼に。

少しだけ体を貸す

浦戸は左目の魔眼と意識の取り合いをしている。左目に主導権を譲れば人間離れした視力、反射力を得るが、代わりに意識は呑まれる。

四季神:眼の表現いいなあ、浦戸。

浦戸:憑依はこれって決めてましたから!



金本:おっさん共かっこいい。憑依を寄生って考えるの凄い。

浦戸:ただ乗っ取られないよう制限かけてるので所詮防御1です。連続判定は重すぎるのでストップで。

浦戸:【闇】2 【光】3 脅威:【闇】17

「俺達は、大人だからな」

GM:ということは+3 ですか…5 以上 1 は出せぬ。じゃあ脅威のフェイズでいいですか？

四季神:こいや。

GM:じゃあ誰に行くか…ダイスで決める！ 1.2 四季神 3.4 金本 5.6 浦戸！

DiceBot : (1D6) → 2

GM:四季神ですねえ。

四季神:誰を狙う？ うちが化物ぞろいだぞ、まあ、そもそもやらせやしねえがな

GM:じゃあ、《幼子》ですかねえ。幸せがにくいって感じで。

四季神:判定をどうぞ。

DiceBot : (2D6) → 7[3,4] → 7



四季神:じゃあそこで『オーダー』だ。

『オーダー』

魔法使いのスキル。コスト1 点支払うことでダイス1つの出目を変更。どうしようもなく強い。

四季神:「『SHIKIーシキガミーGAMI』システム、IGNITION！ 【狐神・冬華】！ 行くぜ、言霊術インストール！」とスマホを操作して冬華を憑依、《命令》を載せるぞ。「テメェの4 は、1だ」出目4 で、失敗だな？

GM:ぎゃあ！ 失敗した……。

金本:スマホでシキガミ操るの新しくて好き

新しくて好き

契約しているシキガミが二桁を超え、なおかつ戦闘中に細かく切り替えるスタイルの四季神にとって、スマホ型の呪具は必須。

四季神:じゃあ、うちに来てもらえるかな。ちとやりたいことがある

GM:えっと、じゃあ行きます。ドールはあなたの家の近くに来てますね。

四季神:じゃあ、多分そこに課長が妨害はいるんですよ





GM: かなりふらふらとしてます

四季神: 「よお、ガキンちよ。いい格好じゃねえか」

少女: 「わたしは…ひつようで…」

四季神: 「つっても聞こえねえか」

浦戸: 『今は俺の時間だ、そう簡単に動けると思ふなよ?』

四季神: で、そこにこっちも言霊術で抑えるわけです「動くなよ」

GM: 動けなくなりますね。

金本: やべえ、防御ってこんなにかっこいい演出できたのか。

防御って

さらっと流すと、失敗しました、だけで終わりがち。

四季神: 「…大人の仕事って、なんだか知ってるか？」

GM: 「……」なにもしゃべりません

四季神: 「よく聞け。ガキを守るんだよ、先に生まれたやつは、みんなそれが仕事なんだよ。大人はな、仕事をするんだよ」

少女: 「……」

四季神: 「だからてめえもよくきけよ」言霊を載せる! 「守ってやる」

浦戸: 『…はっ!』

四季神: 「俺達は、大人だからな？」

GM: すこし、目に色が戻った気がしますね

四季神: 「課長も、金本さんもな。俺らはみんな大人だ。だから、安心しろ。てめえの手は汚させねえ」

GM: 彼女は四季神に手を伸ばそうとしますが

四季神: …あーくっそ。…手を取るぞ!

GM: が、しかし! 頭を思いっきり抱えて、触手を自分にぶつけ離脱します!

四季神: じゃあ、手が空をきるかんで、握りしめるよ。「…課長」

浦戸: 『ああ? 何だよ?』

四季神: 「アイツ…俺に手え、伸ばしましたよね？」

浦戸: 『みてえだな?』

四季神: 「ガキが差し出した手、握ってやらねえ…なんて、できませんよね」ギリ、と奥歯を噛み締めて

浦戸: 『クク、俺は知らねえが…宿主の野郎がさっきからうるせえぜ?』

四季神: 「でしょうよ、課長はな、魔眼セトよ。俺と同じでな」元の姿に戻って「大人なんだよ」よし! やりきった!

浦戸: 『そうかよ。…ああ、うるせえな、今戻るよッ!』

金本: やばい、かっこいいしか言えない

GM: はい、お疲れ様です

浦戸: 戻って退場

四季神: そんな感じで

GM: お疲れ様です…休憩?

四季神: ちょっとミルクティ取りにいきたいですね! 脳が、脳が!

GM: 10分休みで



浦戸: 覚悟はしてたけど2重人格になったな…さて、一層間違えに注意しないと

四季神: やっぱ浦戸かっけなあ！

浦戸: あ、ありがとうございます四季神さんもすばらしい。完全に引っ張られて RP してました

四季神: 鍛えてますから。今回闇が増えないのってあれなんですよ。日常やってないから。あれで闇がすごい増える。

金本: 光を溜める代わりに闇が増えるんですよ

四季神: 全力調査とかだと判定一回になるので、結果的に強い。

GM: そうなんすよねえ。

四季神: あると安心なんですけどね、光。今回はどのキャラも調査とか防御とか、そっち主体の組み方ですからね。

GM: 攻撃がいねえからな。

四季神: 狂騒フェイズでは猛威を振るう。

金本: 逆に決戦だと。

四季神: ちょっと光貯めておかないとキツイですね。判定のダイスを増やしたほうが多分闇よりも安定する。

浦戸: 2撃目まではきっちり当てるスタイルです(

四季神: 『崩し』やべえ。『洗練: 超反射』とかえぐいですよねえ。

浦戸: 『洗練: 超反射』で代用が効くので『ハードワイヤード』もやっぱ欲しいんですよねえ。

四季神: と言うか今回、私の出目相当悪いんですがどうしよう。成功しまくってるように見えますけど、光と闇でゴリ押ししてるだけ。光 0 って見たことねーよ！

GM: 自分すね今日運いいの。

四季神: 6 ゾロ二回も出すしね。

金本: wwwwww

四季神: ワアオ、運すごーい。決戦は課長に 2 撃与えてもらって、こっちと金本さんで一発ずつ担当ってところ？

金本: そうなんすよねえ、ただでさえ攻撃があれなのに。もっと削りたかった。

浦戸: 『リミットブレイク』使ってる暇なさそうですね。

四季神: あー、理論上、決戦は余裕あるはずなんですが。結構これ胃がキリキリする。出目操作系能力者が2人いるからね、このメンバー。

浦戸: リザレクションが確率発動ってのはすでにプレッシャーです。

GM: そろそろいきます？

四季神: よし、ミルクティオーケー。

金本: おkです！

浦戸: うっす。

相談

TRPG において、カッコイイセリフを吐くよりも大事な作業。作戦があるなら先に打ち明けて、それがうまく行くように、またその作戦を前提にできるようにすると、他の人もスムーズに動くことができる。決戦フェイズのカッコイイ場面で相談を開始するよりも、事前の休憩時間などで打ち合わせをすると、展開がスムーズになる。

GM: はい 3 サイクル目です。どうします？

四季神: まずは防御見てからかな。

金本: まずは防御いきますか。

四季神: 金本さんの結果次第で、あとの動き決めましょう。

GM: はい、では何から行きます？

金本: 何点いきます？ 闇0なんで頑張りますけど。

四季神: 確認します、ちょっとまってください。(キャラシチェック中) オーケー、《心理》から《読み》で2点頼めればいけます。

金本: おkです。では、《心理》で防御を

四季神: 目標値 9 にできればかなり余裕。余裕があれば、10 にしたいところですけどねー

金本: 目標値 7

DiceBot : (2D6) → 7[3,4] → 7(成功)

金本: 成功

GM: ぴったーりー

金本: 連続で《読み》目標値 6

DiceBot : (2D6) → 6[4,2] → 6(成功)

GM: 成功

金本: 1 足りまくってるぜ！

四季神: それならもういっこいけますかね？

GM: 2 成功です

金本: 《権力》で 12 ですかね

四季神: 5 上がって目標値 12 ですから、振るだけ振る感じで。

DiceBot : (2D6) → 10[6,4] → 10(失敗)

GM: まじか

四季神: うそだろ。

浦戸: 出目が走る走る

金本: 闇行きましょう、2 点で成功。

GM: 了解ですwww

四季神: 《裏切り》なら 9 ですが、やっちゃいますか。出目次第で。

金本: おkです。《裏切り》 目標値 9！

DiceBot : (2D6) → 7[3,4] → 7(失敗)

金本: 闇行きましょうか、2 点足して成功で、じゃあ目標値+4 で。

GM: まじかー

四季神: なんだこの人、なんだこの人、やばいぞ

GM: 秘書子の加護？





金本:社長力使って秘書子召喚&自分も全力出した感じで

四季神:「金本さん、たのんます。ちっと、啖呵きつちまったんで」

金本:「へいへい、頑張るって決めちゃったしなあ。守るもんがある強さ、見せときますか」

四季神:「お互いに、ね」というわけでこっちもいきますよ。《憑依》スタート、で目標値 5。

GM:はいどうぞ

四季神:防御判定いきます、これで目標値+5 になれば、それでよし

DiceBot : (1D6) → 6(成功)

GM:成功です

四季神:ほらな、引き寄せるんだよ、ダイスってのはな

浦戸:完璧い!

金本:余裕ですなあ

四季神:「IGNITION! 憑依結界! 厄難よ、退け」といって空中に符を書きます、いわゆる空符って言われる術ですな。これで金本さんこの連中をサポート。一応、《超軟体》も振るだけ振ります、6 以上

DiceBot : (1D6) → 4

四季神:ここは打ち止め、闇は払わないでおく。

GM:了解です。脅威の目標値に+5 ですね

四季神:おかしい、中二病キャラをやろうと組んだはずなのに、どこまで戦うお父さんになってる。

金本:お父さんつよい。

GM:何かやりたいことがあります?

四季神:課長に譲ります。

GM:次一課長

浦戸:日常判定ですね? 四季さん対象で

GM:そうですねー

四季神:了解、こっちの特技は《孤独》《病弱》《窓際》。光は 0 だ、どうあがいても成功。

どうあがいても成功。

目標値 0、どれも 1 マスしか離れてないので、連続判定の目標値も 1 となるため。

浦戸:《孤独》からスタート、かっつ。

四季神:増えました、でいいですかね。

GM:カットでいいですよー。

四季神:じゃあ課長は《大雑把》からスタートしますね。光 3 だあからっつと 3 以上。行きます!

DiceBot : (1D6) → 3(成功)



四季神:成功、続いて《高慢》、4以上

DiceBot:(1D6)→5(成功)

GM:おお

四季神:成功、次は《スーツ》で6以上。

DiceBot:(1D6)→3(失敗)

四季神:んー、止めます

浦戸:ですね

GM:了解です

四季神:次の目標値が6になるときついからな。



浦戸:そうですね、『マルチタスク』使用で、再び日常判定。

四季神:流石にここからはダイスがいらいますからね

GM:そうですね

浦戸:《孤独》から 目標3。

DiceBot:(1D6)→1(失敗)

浦戸:闇2で成功。《病弱》目標4。

DiceBot:(1D6)→5(成功)

浦戸:ラスト《窓際》目標4。

DiceBot:(1D6)→1(失敗)

浦戸:闇3支払って終了。

金本:最小値2回か。

四季神:この安心感なんだろう。

浦戸:もともと1を出さないような運の良い奴じゃないんで許容範囲ですね。

四季神:逆に決戦じゃあ回りますな、んじゃあこっちも《大雑把》スタート、5以上。

DiceBot:(1D6)→3(失敗)

四季神:闇2点追加して、足します。課長の光も結構生命線なんでね、次《高慢》6以上。

DiceBot:(1D6)→4

季神:こっちも闇2で成功、次《スーツ》で7以上、振るだけ。これで6でたら買います。

DiceBot:(1D6)→6

四季神:闇1で成功に変える。これで闇が15だな。

金本:おお。

浦戸: 皆凄いなあ。

四季神: 課長の光は8です。

金本: 課長、超光ってる。

四季神: ただ、これで回帰判定やると目標値辛いと思うんで、戦闘で適当に散らして下さい

浦戸: じゃあちょっと付き合ってくださいませ。

四季神: へいへい。

浦戸: 返答しづらい内容になるかもしれないんで、ごめんなさいね。

四季神: だいじょうぶ、どんな玉も私なら打ち返せます。

浦戸: こんな大暴投、煙草屋さんじゃないと投げられないよ！

煙草屋さんじゃないと投げられないよ！

なにすんの。ねえ、なにすんの。



浦戸: 場所は会社の屋上とかでいいですかね

四季神: いいですね、霊薬をそこで吞みます。タバコ型のヤツ。ちょっと頑張
って動いたからぶかあと。

浦戸: 「四季神くん、君は私の眼が…セトと呼ばれるのを知っていたね？」

四季神: 「…あー、そんなこと言いましたっけね」ちょっと、しまったな、という
顔で。

浦戸: 「…それは構わんのだ。ただ、少し伝えたいことがあってな」

四季神: 「聞きますよ」と神妙な顔で

浦戸: 「セトは瀬戸、眼が偽名として時々使う名前だ。だが…この眼を持つ者
の名前は『浦戸』だ。それで通っている」

四季神: 「…」

浦戸: 「力を持つものと持たぬ者の名が逆になっているのだ。皮肉だろう？」

四季神: 「…つまり」

浦戸: 「一般人であるのが『瀬戸』だ。だから私は彼女の前で瀬戸と名乗っ
た」

四季神: なるほどねえ。つまり、能力者としての名前は『浦戸』。一般人として

の名前は『瀬戸』…そういう意味ですか。

一般人としての名前は『瀬戸』

ただの書き間違いをよくここまで設定をとって練り上げたものである。

四季神: 「今はじゃあ、瀬戸って呼ぶべきですかね？ それとも、浦戸と呼ぶ
べきですかね」

浦戸: 「…瀬戸だ。私は一般人として、瀬戸として力を奮い、君の行動に協力
しようと思う」

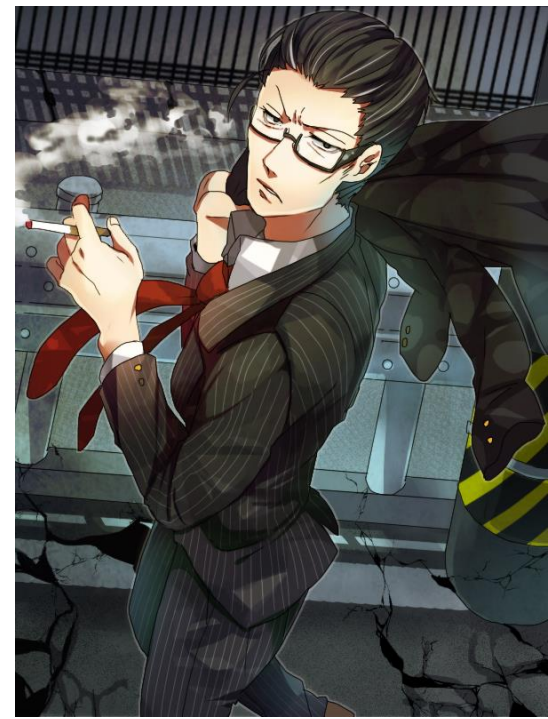
四季神: 「課長。アンタ、一つ勘違いしてますよ」どちらとも言わず、課長と呼
びます。

浦戸: 「…ふむ？」

四季神: 「力が無い？ 冗談やめてくださいよ」とハハ、と笑って「俺はね、世
界だって救えますよ。ですがね、居候の学費だって、ひいこらって捻出して
んです」

浦戸: 「……」

四季神: 「瀬戸も、浦戸も…俺からしたら、敵わねえ」



四季神:「そんな人が、味方についてくれるってんです。…百人力なんて言葉じゃすまねえですよ、課長」といって、笑います。

浦戸:「…フフハハハハ！ そうか、良いだろう、お前の言葉に乗っておくとしよう」

四季神:「ええ、だから、こう呼ばせてくださいよ、『課長』。ちっとばかり、お祭り騒ぎとお説教につきあってください」

浦戸:「…」あとは無言で退出ですね。

金本:【闇】4 【光】4

四季神:【闇】15 【光】6

浦戸:【闇】7 【光】8 脅威:【闇】17

GM: かけえな！

金本: ああ、かけえ！ まさか打ち間違いからこんなことに発展するとは！

GM: そうだよねえ。

浦戸: 振った俺のほうがかっこいい追いつめられてた気がしてならないよ！

四季神: 準備してたからね。この展開。いやあ、最高の振りだった！ 一般人をね、力のない、って表現してくれるの、すごい待ってた！ 「そうじゃねえよ、あんたすげえよ」っていいかった！

金本: なるほど、いい、すごくいい。

四季神: ギャップおじさんは、こういう日常を示すシーンが最高に楽しい。



GM: 脅威いきますね、どうやっても失敗なので、ダイスだけ振っちゃいます。

DiceBot : (2D6) → 12[6,6] → 12(スペシャル)

GM: あ

四季神: なぜここでそれを出す

浦戸: ダイスが元気だなあ

四季神: が、『オーダー』だ。「『SHIKIーシキガミーGAMI』システム、IGNITION! 【狐神・冬華】!」

GM: でよねー!

四季神: その6を1に変える。出目は7、目標値は10。+2の補正があってもとどかねえだろ?

GM: しっばいー無理ですねー。

四季神: 光1点だけ払って。「…おいおい、明日がまてねえのか、ガキンちょ」

少女: ……

四季神: 「それならいいぜ、俺たちが今からよ……救ってやるよ、大人だからなッ!」と、封じた感じで。

金本: 完全に決戦前のセリフw

四季神: …やばい、これだと今すぐ決戦になってしまう。

GM: そのまま決戦行きます?

四季神: じゃあ、2人さえよければ、ここでカッコよく登場するというのは、どうでしょう?

浦戸: いいでしょう。

金本: 「守るって言ったからには、守るよー、全部ね」じゃあ秘書子連れてくることにしましょうか。

GM: では秘書子さんが警備隊をつれて現れますね。「力お必要ですね」

金本: 「気が利くねー、さすが秘書子」ニカッと笑う

四季神: ニカッと笑って「そういや、聞いてなかったな。てめえ、名前は?」

少女: 「……」

四季神: 名乗れないのか、それともないのか

GM: なのれないようですね。

四季神: 「いいぜ、そっちがその気なら、こっちも全力よ。迷子の名前を聞かなきゃよ、家までおくってやれねえんだ」

GM: 暴走状態、もう何も考えたくないようです。

浦戸: 「……」私は無言のが良さそうなのでザツザツと足音を立てながら

四季神: 「…カづくだぜ? お前を、守り抜いてやる」という感じで!

GM: では決戦開始です

金本: あい

金本: 【闇】4 【光】4

四季神: 【闇】15 【光】5

浦戸: 【闇】7 【光】8 脅威: 【闇】17





浦戸:では『リミットブレイク』光1消費 目標値は『洗練』込みで6!

『リミットブレイク』

改造人間のスキル。決戦で行動する代わりに使用する。判定に成功すると、以降の判定に+1の修正。

『洗練:』

共通スキル。取得時に指定した特技の判定に+1の修正。

DiceBot:(1D6)→1(失敗)

浦戸:1多くなってるな—もういっちょ光!

DiceBot:(1D6)→3(失敗)

GM:あと2ですね

浦戸:闇でいきますかね、2点蓄積。

四季神:オーライ、これでいける。じゃあ、社長、一番槍頼みます!

金本:「んじゃあ、行きますかあ」《誘導》で目標値5! あ、攻撃ね?

DiceBot:(1D6)→3(失敗)

金本:闇2、連続《人員》目標7!

DiceBot:(1D6)→4(失敗)

金本:闇3!

金本:とめで。じゃあ金本が誘導で気をそらしたところで、秘書子が絞める感じで。武器は使わせたくない。



四季神:秘書子やばい。

秘書子やばい

改造人間を素手でどうにかできるレベルの武力を持っている。

秘書子:「指示をお願いします、社長」といいますね

金本:「子供を扱うようにやさしくね、けど悪い子だからきつくお願い」

秘書子:「はい!わかりました!総員私の指示に従いなさい!」

金本:ってことでダメージ 2d6 かな

DiceBot:(2D6)→6[5,1]→6

金本:低いなあ

GM:闇は残り11ですね。



四季神: んじゃまあ、行くぜ。…3d6 じゃあ 11 出せる気がしねえ、4 回連続いくぞ。

GM: はいどうぞ

四季神: 『パターン:ゴリラ』起動。「『SHIKIーシキガミーGAMI』システム、IGNITION! 【狗神・秋香】! さあ、走ろうぜ」とスマホを操作して秋香を憑依、獣人化する。光 1 払って、この判定の出目 5 は 6 となる。

『パターン:ゴリラ』

人外のスキル。決戦の判定で、出目の 5 を 6 として扱う。本来、魔法使いである四季神は取得できないが、『裏の顔:人外』で無理やり獲得している。

GM: おお

四季神: で、攻撃を、《交霊術》から行く。目標値は 7。

DiceBot: (1D6) → 1(失敗)

四季神: 光使用! そこで『オーダー』だ。「『SHIKIーシキガミーGAMI』システム、IGNITION! 【狐神・冬華】! 行くぜ、言霊術インストール!」1を6に変えて、闇1成功だ!

GM: あーそうか!

四季神: 次、《憑依》目標値 8!

DiceBot: (1D6) → 2(失敗)

四季神: 光 1 使用、今度は振る!

DiceBot: (1D6) → 1(失敗)



金本: おk! 『根回し』使用! シキガミをどう根回しするんだw

『根回し』

大物のスキル。コスト1消費で判定のダイスを振り直させる。光でダイスを増やした場合、全てのダイスを振り直させる。

四季神: ありがてえ! ほら、ウチのシキガミ、肉食だから…

DiceBot: (2D6) → 6[1,5] 【ゴリラ効果で 5→6】→7[1,6](失敗)

四季神: 闇1で成功! 続いて、《超軟体》、いくぞ 8 以上!

DiceBot: (1D6) → 3(失敗)

四季神: 光 1 使用!

DiceBot: (1D6) → 4(失敗)



四季神:闇1で成功、これで3成功だな！ 俺の光が残り1で、3d6 でちょっと殺しきれない気がする。

GM:あー？うん。

四季神:じゃあ『プレコグ』使うぞ。「『SHIKIーシキガミーGAMI』システム、IGNITION！【狸神・春歌】！ 未来を示せ、ヴィジャボード」とスマホを操作して春歌を憑依、こっくりさんを空中に出して、未来を見る。

『プレコグ』

魔法使いのスキル。コスト2消費し、ダイス4つを振り、そのうち2つを判定に使用する。光1ではコストを払いきれないが……。

四季神:光1点と闇1d6を光の代用として支払う。

闇1d6を光の代用

コスト1の代わりに闇を1d6支払うことで代用が可能。脅威も闇で支払う。

DiceBot : (1D6) → 1

四季神:よし！ 闇1上昇で済んだ！

GM:おお

DiceBot : (4D6) → 10[6,1,2,1] → 8[6,2]

四季神:6と2で8, 皮は2マス離れてるから、闇1で成功だ。

GM:おお！ 4d6ですねどうぞ！

DiceBot : (4D6) → 12[2,3,5,2] → 12(闇-1)

GM:おお足りた。

四季神:やってよかったああああああ！ あっぶねええええええ！ すいません、時間取っちゃって！

金本:おお、1ターンでとりあえず一回いけた！

GM:じゃあ、再起行きますね。

再起

再起判定。脅威の闇が0以下になったときに行う。ダイス1つを振って、再起判定の回数以上の出目が出れば闇を2d6補充した状態で復活する。

DiceBot : (1D6) → 6(1回目・成功)

GM:ここでw 再起成功です。次、闇。

DiceBot : (2D6) → 8[4,4] → 8

浦戸:む。





四季神:8か、微妙すぎない? 二回成功で、行けるかどうか、微妙すぎない?

浦戸:状況によっては私が3撃目まで見るべきですか。

金本:ですねえ。自分は落としそこなったときの要員って感じで。

四季神:次のサイクルで、2回は落としたいところですね。私は次から防御にまわります。光無いから封印使いながら。それじゃあ脅威の行動?

GM:では、はいそうですね『ディザスター』をつかってきますね。

四季神:おまw

『ディザスター』

脅威スキル。全体攻撃のダメージが1d6から2d6に上昇する。連続判定は通常通り1d6ずつ上昇。一発当たるだけで大損害。

GM:一応振ります

DiceBot:(2D6) → 9[4,5] → 9

四季神:金本さんたすけてー!!

浦戸:止めちゃってー!

金本:じゃ、『必要とされた事実』教えましょうか。コスト1。

GM:では彼女は攻撃を打とうと力をためてますね。

金本:じゃあ特に気にせず接近していきます。

四季神:「!? 金本さん!？」

金本:「あー、確かキミがこうなっちゃったのって洗脳されてるって知っちゃったからだっけ?」四季神さんを手で一応制しておきます。大丈夫、みたいな。

四季神:「っ!」あの人は無意味なことはしない、ととどまります。

GM:ピクリとうごきます。

金本:「まあ、そうだよー、俺だって洗脳されてるってわかったら混乱するよ」

浦戸:「…」相変わらず無言で静観してます。

GM:構わず彼女は力をためます。



金本:「自分がしてきたことの意味は? 自分の存在意義は?って何を信じればいいんだあ、ってね。ま、人間、意味とか存在意義とか、そんなもんないのが大半だ。だが、キミはクローン。キミには生まれてきた意味がある。意義がある。まあ、調べたからわかったことなんだけどね…」って言って事実の内容を淡々と話します。

GM:では感情が暴走した中、困惑で停止しますね。

金本:淡々とはやめとこう、ちょっとユーモア入れておこう。子供に絵本読み聞かすような感じにしておこう「ま、そういうこった。どうだ、少しは落ち着いたかい?」

GM:了解です、少しだけ目に光が戻ってきますね。

四季神:「…敵わねあなあ、くそ。俺がこんだけ術で止めてるつつのに…あの人は、セリフだけでやっちまいやがる」

GM:だけど、まだ足りませんね。

金本:「なあに、俺の力じゃねえよ。元部下たちが頑張ったからだ」



四季神:「それも含めてっすよ。勝てねえ勝てねえ」

金本:「はは、うれしいこと言ってくれるねえ」と笑っておきましょう。

浦戸:「…だが止まらぬようだな」

金本:【闇】9 【光】2

四季神:【闇】19 【光】0

浦戸:【闇】9 【光】7 脅威:【闇】8 再起1回

決戦—2サイクル目—

浦戸:「……いいだろう」

四季神:「んじゃあ課長…頼みます！」

浦戸:攻撃判定で『崩し』。『リミットブレイク』『洗練』攻撃ボーナス込みこみ3を出せば成功。《超反射》

『崩し』

共通スキル。取得時に指定した特技で攻撃を行う。成功すると、次の連続判定に+2の修正が入る。3発目以降には修正が入らないので注意。

DiceBot:(1D6)→1

浦戸:闇2払ったので、つぎ、《命令》ですね、『崩し』で+2『リミットブレイク』で+1 攻撃判定で+2 マスの距離で-3。

四季神:すげえ、それで5で成功するんだ

DiceBot:(1D6)→5

四季神:ジャスト!

浦戸:「解っているだろうな!？」『解ってんよドメ刺さないんだろお!？」と小話を入れて《憑依》で判定! -3で目標10!

四季神:憑依なら出目9以上ですね、リミットブレイクで+1 目標値は3離れて10。

浦戸:っと

DiceBot:(1D6)→2(失敗)

浦戸:光!

DiceBot:(1D6)→6(成功)

浦戸:あと1、闇で! さてダメージ8は出せるか俺?

GM:はい3d6ですけどいけます?

四季神:大丈夫さ。あとには俺も金本も控えてる。

浦戸:じゃあここでストップ。

金本:うん、安心して。

DiceBot:(3D6)→12[2,5,5]→12





GM: おお

四季神: よーし！！

金本: 十分w

浦戸: 《憑依》なので『後の一撃は…俺だァ！』

GM: 再起ですね

DiceBot: (1D6) → 2(2回目・成功)

金本: おしい

四季神: 「…よし、薄れてきてる！」

GM: 再起成功で、闇 2d6！

DiceBot: (2D6) → 6[2,4] → 6

浦戸: タッチ交代！ 次お願いします！

四季神: 金本さん、頼みます！

金本: おkです！

GM: 目に光が戻ってきてますね。

金本: 「じゃあ、秘書子！ さっきと同じやつ、頼む！」《誘導》で攻撃！

GM: 「はい！ 仰せのままに」といって指揮をとりますね

金本: 目標 5

DiceBot: (1D6) → 1

金本: 光！

四季神: えっ！？

えっ！？

出目の1が2つ出ると、フアンブルとなり、達成に関係なく失敗になる。そのため1が出たら光を使わないのが鉄則。

DiceBot: (1D6) → 5

四季神: そうか、『※天才』あるから1でも光に遠慮ねえんだ、この人。

『※天才』

共通スキル。フアンブルを振り直す。あると便利。むしろ救世主。

金本: 連続《人員》で目標 7！

DiceBot: (1D6) → 1

金本: あー、闇でいいや。ダメージいきます！

DiceBot: (2D6) → 10[4,6] → 10(闇-4)





四季神: すぎえのがきた

金本: さすが秘書子

四季神: よしよし、再起だな？

GM: いきます…運命のダイスロール

DiceBot: (1D6) → 6(3回目・成功)

金本: くそう。

GM: そろそろやばい、このための『悪意』を使って復活！

四季神: なにい！？

『悪意』

脅威スキル。再起後の闇を+1d6する。

DiceBot: (3D6) → 2[1,1,6] → 8

金本: wwwww

GM: ぎゃあ！

浦戸: 8ね、もっかい同じのブチ込まなきやいかんか。

四季神: まあこれならよし！ 防御します！《憑依》→《超軟体》の目標値5→6で！

GM: はい了解です。

DiceBot: (1D6) → 4(失敗)

四季神: 闇1で20！ 成功して《超軟体》！

DiceBot: (1D6) → 3(失敗)

四季神: オーケイ、勝った。闇3で23、成功だ。

GM: わかりました。

四季神: これで目標値は+2で9だ。「…きちいなあ、こりゃあ」薄笑いを浮かべてますが、わりと限界が近い。

GM: では、『ディザスター』ですね、《触手》です。

DiceBot: (2D6) → 8[4,4] → 8(成功)

四季神: 闇1d6で『オーダー』「その4は1」だ。5で失敗だな？

GM: 失敗です

金本: オーダー強い。

四季神: んじゃあ、支払うぜ。

DiceBot: (1D6) → 6

GM: あぶー。

四季神: よし、30にならない計算だ、これでいい。



オーケイ、勝った。

光の代用で闇が最大値になっても 30 を超えない、という意味。だからといって最大値を出す必要はない。

金本:もう闇払えない感じですね。

四季神:29 でギリギリだが、まだ封印が残ってるからな、あと 10 はいけるぜ？



GM:では、ドールは動きを止めますね。

四季神:「させねえよ。言ったろ。”守ってやる”ってな」

GM:「…！」

四季神:「お前を、お前の手からも、何もかもから守ってやらア！」

GM:涙が、つつつとながれますね。

四季神:けど闇は払えないのでお二方、頼みます！

金本:【闇】15 【光】1

四季神:【闇】29 【光】0

浦戸:【闇】12 【光】7 脅威:【闇】8 再起3回

決戦—3サイクル目—



GM:では次のサイクル、どうします！？

浦戸:3撃は確実に通す。行きますよー！

金本:お願いします！

浦戸:『崩し』からのさっきの、3→5→9

DiceBot:(1D6) → 5

四季神:よし！

浦戸:成功、次《命令》で目標 5！

DiceBot:(1D6) → 3(失敗)

浦戸:闇2！『崩し』つええなこれ！？ で、次《憑依》、目標 9！

DiceBot:(1D6) → 3(失敗)

浦戸:光1！

DiceBot:(1D6) → 6(成功)

四季神:すげえ！ 課長が輝いてる！

金本:最大値！

浦戸: んー、確実にもう一発行っとく? どうします?

四季神: ここでいいと思います。さすがにこれを出ないのはしょうがない。

浦戸: ではストップで。

DiceBot: (3D6) → 16[6,4,6] → 16(闇-8)

四季神: すげえ!?

浦戸: あらぶってるー!



金本: すげえ。

GM: では、再起!

DiceBot: (1D6) → 4(4回目・成功)

四季神: ギリギリで耐えるなあ!?

DiceBot: (2D6) → 4[2,2] → 4

GM: 4です!

金本: よしwww

四季神: 2発行けば落とせますよ、ゴー!

金本: 「秘書子ー! 行くぞー!」

GM: 「はい!」

金本: 《誘導》→《人員》 目標値は5→7!

DiceBot: (1D6) → 1(失敗)

金本: 光!

DiceBot: (1D6) → 2(失敗)

金本: 闇2!

DiceBot: (1D6) → 2

四季神: 金本さん、闇で力の封印を! 20超えるとまずい!

力の封印

闇の蓄積やダメージを受けたときに宣言する。特技を1つ封印するごとに、闇の上昇を1d6軽減する。あくまで上昇を軽減するだけなので、初期値より下がることはない。

金本: おk、じゃあ《裏切り》封印だ!



金本: 闇が5だから…!

DiceBot: (1D6) → 3

金本: 2上昇して、19どまり!

四季神: 19! ナイス!

金本: ダメージ!

DiceBot: (2D6) → 11[5,6] → 11

四季神: いっけえ!

金本: でけえよw秘書子頑張りすぎだw

GM: 再起!

DiceBot: (1D6) → 1(5回目・失敗)

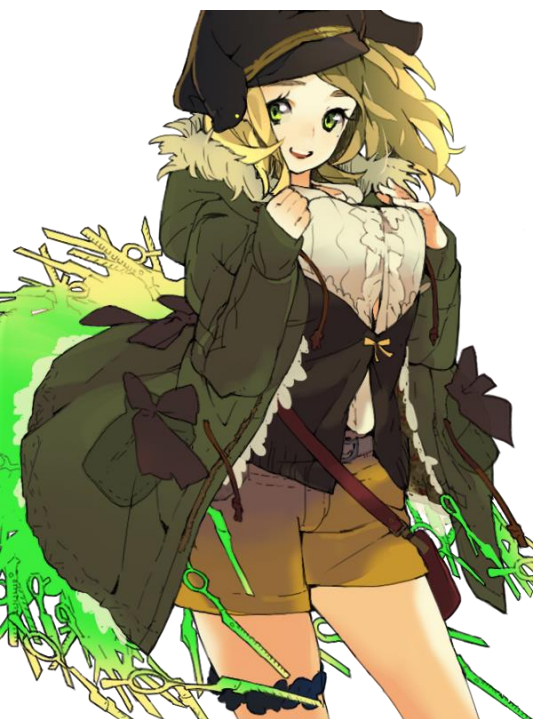
四季神: ……………!!

金本: よっしゃああああ!!

浦戸: 止まったか…

四季神: シヌカト オモイマシタ。

GM: では描写行きます。



金本: 「まあ、これで最後かな、大人しく眠ってくれ」気絶させる感じで首元をたたたくあれで。

GM: 秘書子はそれを受け止めますね

金本: 「ふう、終わったかあ」

GM: 「はい…」

浦戸: 「…そのようだ」

四季神: 「…後は、仕上げだけか。『SHIKIーシキガミーGAMI』システム、IGNITION! 【狐神・冬華】”守ったぜ? ガキンチョ”言霊で、守った、という事実を突きつける。悪縁もこれで消えるだろうさ。

GM: すると、ぽっけからにやーという音がします。その音が次第にカスレ…

GM: 爆発しました。

秘書子: 「どうやらこれが洗脳機器、だったようですね…」

GM: 彼女は穏やかな顔をして寝てますね。

浦戸: 「…そうかね、それは重畳」

金本: 「なんだ脳機器かよ、吃驚させやがって…せつかく守ったのに爆発したのかと思ったぞ」

四季神: 「ったく、最後まで趣味がわりいなあ、オイ」

金本: 「ふう、お守りは疲れるぜ」

四季神: 「金本さん、無職でしょ? たまには仕事をしなきゃあ」

金本: 「これでも馬とか自転車とか、仕事してるのよー」

GM: それじゃあそろそろ回帰判定に行きましょうか。

回帰判定

回帰判定

シナリオ終了時、闇が1点でもあれば、PCは日常に戻れず闇墮ちする。拠所判定に成功するごとに闇を10引き下げることができるが、この判定では闇の蓄積は使えず、光しか使えない。ファンブルが出ると死ぬ。通称ラスボス。



四季神:あ、俺もう回帰してるので(シュタツ)

GM:早いww

金本:くそうw

浦戸:0,1,1で確定ですねw

四季神:その分すげえ、攻撃喰らわないようめっちゃ動いてたんだってw

攻撃喰らわないよう

言うのは簡単だが、そのためにどれだけのコストが必要なのかはご覧の通り。脅威の構成次第では闇墮ちする。おすすめはしない。

浦戸:そこらへんのコントロールは知り尽くしてる方だからとしかw

金本:最後の闇の調整とかすごかった。

四季神:でもこれスゴイツライ。まあ本当は余裕あったら他のこともする予定だったんだけどね。2人の回帰判定で『オーダー』飛ばす予定だったんだけど、ごめん、流石に余裕ない。

『オーダー』飛ばす予定

回帰判定でもスキルは有効。装備スキル以外にもコストさえ足りていれば、使用できる。

金本:自分は大丈夫です。

浦戸:まあ多分大丈夫ですよ。目標値4,5で、ダイス6個で失敗するつもりはないですし。

四季神:【闇】29→0 【光】0 Result:回帰成功

金本:じゃあお先に。

秘書子:「こっちにこーい」

金本:光1なんで、《敗北》からで

光1なんで

プレイ中気づいていなかったが、この時点で金本の光は0。回帰判定はもう成功している。こういうことはたまにあるので気にしてはいけない。次から気をつけよう。特にデザイナー、お前が気をつけろ。

金本:目標1かな(※0です)

DiceBot:(1D6)→6(成功)

四季神:帰る気がない。欠片もない

金本:次、ゲームで目標2(※1です)



DiceBot : (1D6) → 2(成功)

金本:ま、余裕だよな

秘書子:(´;ω;`)

金本:ただいまです

金本:【闇】15→0 【光】0 Result:回帰成功

四季神:よっしゃよっしゃ、次は課長ですね

浦戸:んでは私一《信仰》スタート、目標 5。

DiceBot : (1D6) → 1(失敗)

浦戸:光1っこめー。

DiceBot : (1D6) → 6(成功)

四季神:次は 6?

浦戸:《探求》で 6。

DiceBot : (1D6) → 3

浦戸:あとは光の数で確定。

光の数で確定

実は 1 が 2 個出るとファンブルになる。なので確定はしない。



DiceBot : (1D6) → 3(成功)

四季神:よっし。

GM:お帰りなさい

浦戸:光3あまり

浦戸:【闇】14→0 【光】5→3 Result:回帰成功

四季神:全員戻ってこれた…よかった

金本:全員帰還!

GM:全員生還です。秘書子は残念そうです。

四季神:おめでとう!

金本:おめでとう! ありがとう!

四季神:エンディングの前にちょっと確認といこうか。

エンディング前の相談。

エンディングで脅威だった子をどう扱うか、で散々話し合った。当初は秘書子がテイクアウトして戸籍を用意して、という話だったが、「秘書子は一般人なので巻き込みたくない」「あと金本がパパにされかねない」などが問題視される。じゃあ結局誰がこの子の面倒を見るのか、という話から…。

四季神:なら、とりあえずだ、親元…つっていいのかどうか、わからんが、そこに返せるまで、仮に面倒を見る。

金本:なるほど、親元ね。それが一番だわなあ。

四季神:どうせ 3 人共関わる。エンディングは三人のところで、あの子がどう過ごしてるか、それでいいんじゃないかな。

金本:いいですね、そうしましょう。

浦戸:うっす。

そういうことになった。

金本:ちょっと考えます

四季神:じゃあこっちからいこうか？ どうせどうなるかはなんかもう目に見えて俺は死ぬ。それじゃあ俺のエンディングからでいいかな？

GM:はい、どうぞ。

エンディング：四季神・夏影の場合



GM:どこからはじめます？

四季神:場面は、そうだな、家の前で。

GM:ハイわかりました。

四季神:女所帯だから、ひとまず今夜は、ってなところでこっちに泊まる感じ。ズタボロになって、霊薬を深く吸って…「あー……ひっさびさに死ぬかと思ったわ…」

少女:びっくつとなりますね。

四季神:「お？ いっちょまえに気にしてやがるな？」といって、頭をガシガシとなでてやる。「おう、気にしろ気にしろ。人様に迷惑かけちゃあいけねえやな」

少女:すごい涙目です。

四季神:「……けどな。迷惑かけねえガキなんざあ、いねえんだよ。ガキはガキらしく、大人に迷惑かけろ、んでもって、いっぱい叱られろ。んで、てめえが大人になったらな……同じことしてやれ。わかったか？」といって、ニカッと笑うよ。

GM:すごくキョトンとした顔になって、そして、笑います。

四季神:「できるじゃねえか、いい顔がよ。そういや、聞いてなかったな。

お前、名前は？」

少女:「M-7号」

四季神:「…そうかい。んじゃまあ、とりあえずだ。お前のな、名字は……”三科”だ。Mじゃねえ、三科だ」

GM:「？」

四季神:「てめえにや、親がいるって話だよ」

GM:「！」

四季神:「かあちゃんと、同じ名だ。名前っつか、名字だけだよ。今度、名乗るときは、そう名乗れ。下の名前は…まあ、七号っていいにきいな、ナナとでも呼ぶけどよ……」

四季神:「かあちゃんにあったら、お前が聞け」

三科:ぽわあとした笑顔になります。幸せそうです。

四季神:「俺は知らん。じゃあ、ひとまず帰るか。”三科”の嬢ちゃんよ？ まあ、退屈はしねえよ、ウチはな」

三科:では袖を引っ張ってついてきます。

四季神:…で、だ。

GM:ん？

四季神:「おーい、今帰ったぞー、おみやげあるぞー」と、すごくいい顔でいいます。

冬華:「ん？ なんじゃ？ ってまたひろたのかー!？」

四季神:「…いや、あの」

冬華:驚いてますね

四季神:「その…家にその、帰れるまで、その…金本さんとか、あと、課長とかと、その…相談して…で、とりあえず、今日うちが女いっぱいだし…いいかな、って…」

秋香:「なに!？ あんたまた拾ったの!？」





四季神:「秋香！ あの、だな、その…この。…えっと…春歌！ しゅ、春歌は解ってくれるよな！？」
 秋香:「この子胸大きいじゃない変態！」殴り飛ばされますね。
 四季神:「待て待て待て待て！？ 俺は死にかけてんだよ！？」
 春歌:「ねむい…」
 四季神:「おう、あー…このおねえちゃ…いや、あれか、年下なんだけど、その…春歌？ 春歌一！？」
 春歌:「がんばb」:とって寝室に行きます



四季神:「お…お、お、お…！！」

四季神:「俺に味方はいねええのかああああああああああああ！！！！！！！！！！」

四季神:というところで。

GM: はいwww

金本: 一気にラノベのキャラっぽくw

浦戸: 最後まで濃いなあw

金本: いいですねえ、実にいいです

GM: じゃあ次ですね

金本: どちら行きます？

浦戸: では先頂きます



エンディング: 浦戸・礼の場合

GM: どうします？

浦戸: では家で読書をしています「何だ、来たのかね」

四季神: 一応、手紙を持たせてます。

三科: コクリとうなずき、手紙をついっと渡します。

浦戸: 受け取りつつ。

四季神: 「タ ス ケ テ 」

浦戸: 捨てようと思いますが……ちょっとなやんでポケットにしまいます。「…全く、君が来てからな、眼が騒いで読書にならなそうなのだ」

三科: 「？」すごくきょとんとし、そしてすりよりますね、犬っぽく。

浦戸: 「…だからお前には別の時間つぶしを提供してもらわねばならん。何がしたいか言ってみるがいい」

三科: 「いっしょに、どくしょがいい」といいますね。

浦戸: 「…出来んと言っているのだがな。…まあ良い、読みながら別のことも考えておけ」とみつくろいに向かうと。

三科: ひなのようについてきますね、とことこと。

浦戸: それでは書齋…があるか解らないので本棚に向かいながらフェードアウトで。

四季神: おじいちゃんがいる…。

GM: おじいちゃんだ…。

浦戸:このこ相手じゃ口調ぐらいしか傲慢にできないよw

金本:お父さん、お爺ちゃん、さて俺は何になるんだ

四季神:……すごい納得がいけないことなんです、お兄ちゃんになりそうなんですよね。

GM:あー なんか納得。

四季神:年齢的に意義を唱えたいんですが。

金本:あー

四季神:年齢的に意義を唱えたいんですが！

金本:34歳です！

四季神:25だぞ、俺！

GM:年季が違う

四季神:くぐってるからね、修羅場！



エンディング:金本・悟の場合

GM:じゃあ、どうします？

金本:んー、2人とも家だったんで自分も家にいたいです。こう、丸い机はさんで二人座ってます。「あー、そのー、なんだ」頭をぽりぽり。

GM:何をしてるんですか？

金本:黙って座ってる感じですね、何話せばいいのかわからない感じでw

三科:じーっと目を見つめますね

金本:「なんか食いたいもんとかあるか？」

三科:「？」

金本:「くそう、この前まで喋ってたじゃねえかよ」

四季神:なんだこの、いとこのにいちゃん

GM:幼児退行しちゃってますね。

金本:「守るって言ってもこういうのは得意じゃねえんだよ……」

GM:じゃあピンポンで音がします

四季神:そういえばさ

金本:「あー、よし、そこで待ってるんだぞ、動くなよー」

四季神:秘書子のとこに置きたくなかった理由、もう一つあって。

三科:うなずきます

金本:「はーい、どちらさま」

四季神:たぶん、金本さんなんだかんだでお父さん扱いされて既成事実するよね、って

秘書子:「社長きました」

金本:「……普段だったら帰すところだが、今日は助けてくれ」と上げます。「で、何の用だ」

秘書子:「はい、だと思ったので食材をもってきました」七を見て言いますね。「料理を作りに来ました」キリッとして言いますね

金本:「おー、この姉ちゃんが料理を作ってくれるそうだぞ、やったな！」と、七のほうを見てぐっと親指立てます

秘書子:「正直簡単なモノしか作れませんがまだましでしょう」

GM:七も親指を立てます

金本:「いや、ちゃんとしたもの食べさせてるよ？ なあ？」

秘書子:「どうせ外食ばかりでしょう」





金本:「出前だって取ってる」とドヤ顔で。

秘書子:「社長、あなたは健康でいてくれないと困るんですよ」とぶちぶちいいながら料理をつくっていきます。

金本:「ピザや寿司だって健康でおいしいよなあ」と七に同意を求めます

三科:すっごくコココクうなずきます。ジャンクフードとかかなり好きですね。

金本:「ほらあ、七だってこう言ってるぞ」

秘書子:「はあ、社長？」と怒りマークを頭に付けます

金本:「ん？」

秘書子:「社長そこに正座してください」

金本:「……え、なんで？」

秘書子:「いまから、子育てについて話しましょう」といって説教が始まりますね。

金本:「はあ？ いいよ、一時的なお守りだし」とこんな感じで

浦戸:なんだただの通い妻か。

四季神:爆ぜろ。

金本:おかしい、闇堕ちしてないのに外堀を埋められている感がある。

四季神:www

GM:うんなんていうかはぜろ。

四季神:おかしいな、四季神の方が女性率高くてハーレムなのに、リア充度が違うのはなぜだ。

浦戸:一回死なない程度にはせて病院に通いながら看病される。

金本:やって楽しかったのは否定しない！

四季神:まあ、一旦シメましょうかw

金本:GM、しめの一言を！

GM:皆さん本当にありがとうございました！

金本:ありがとうございました！

四季神:こちらこそ、ありがとうございました！

浦戸:ありがとうございました！

GM:これにて、セッション終了です！

金本:成長点やっていきます？

GM:やってく？ えーつとどこだっけ？

四季神:あー、スキルパートですね。基本ルルブにはない。

基本ルルブにはない。

基本ルールブックに成長の項目はない。これは余計なルールを省いたモノプレイを目的にしているため。

GM:あったあった。ではまず全員回帰成功で5点ですね、おめでとうございます。

四季神:闇29は正直やばかった。

金本:やばそうには見えなかったですよw

GM:拠点を守ったも全員達成で3点ずつ

金本:29に丁度なったときはすげえってなりましたけど

四季神:8点ゲット！

GM:拠点を守れなかったはなかったのだから0点。

四季神:あれで一気に余裕なくなりましたよ…w

GM:力の封印はえーと

金本:自分が1にあります

GM:では金本さんだけ-1点ですね

金本:はい

GM:では皆さんが琴線に触れたのはだれなのかつと。四季神さんからどうぞ。



四季神:んー、悩むところですが、今回は浦戸さんで。演出かっこよかったなあ。

浦戸:あざっす

GM:ほうほう

四季神:悩むよこれw

GM:何かほかにありますか？ うんわかる。はいじゃあ金本さんお願いします

金本:本当に悩みますけど、四季神さんですかね。

四季神:アザーッス

金本:特に最後の名前のくだりが最高でした。

GM:うんうん

金本:苗字与えるシーン、あれ最高

四季神:あそこで自分が名前つけるのは絶対に違うな、って思っていましたからねえ。



金本:自分だったら親からとって、とかで付けちゃいますもん。

GM:あるある

四季神:どうせもうなんかしら考えてるだろ、自分で聞いてこい、という感覚。さっさと送らにやな。

GM:では次、浦戸さんですね



浦戸:うーん、全力全開の大暴投を撃ち返された以上四季神さんにするしかありませんねえ…

GM:www

四季神:ありがとうございますwあそこは正直結構困ったねwけど、用意してたセリフが使えたからなんとかあったw

GM:あったの!?

四季神:だいぶいじりましたけど。異音フェイズ終わった段階で決戦のセリフ描いてましたよ。

GM:ふあー

浦戸:もう大分頭が緩くなってた時間帯でしたから…こっちも何言ってるか怪しかったです。はいw

四季神:じゃあ、今日はこのへんでw

金本:じゃあ、今日はありがとうございました！

四季神:はい、こちらこそありがとうございました！

GM:お疲れ様です

四季神:やりきったー!!w

GM:ありがとうございました

金本:お疲れ様です！

GM:ノシ

Result: 四季神 11点(琴線:GM・金本・浦戸) 金本 7点 浦戸 9点(琴線:四季神)

画像はジュエルセイバーFREEからお借りしています。

URL: <http://www.jewel-s.jp/>